

iモード編

iモードとは	24
サイト(番組)接続サービス	40
インターネット接続サービス	62
iアプリ	65
キャラ電	92
iモーション	94
メッセージサービス	100
便利な機能	111
iモード設定	117
アプリケーション通信設定	126

この取扱説明書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。

iモードとは

iモードでは、iモードメールやiモード対応FOMA端末(以下iモード端末)のディスプレイを利用して、サイト(番組)接続、インターネット接続などのオンラインサービスをご利用いただけます。

サイト(番組)接続

簡単なボタン操作で、IP(情報サービス提供者)が提供するさまざまなサイトを利用できるサービスです。

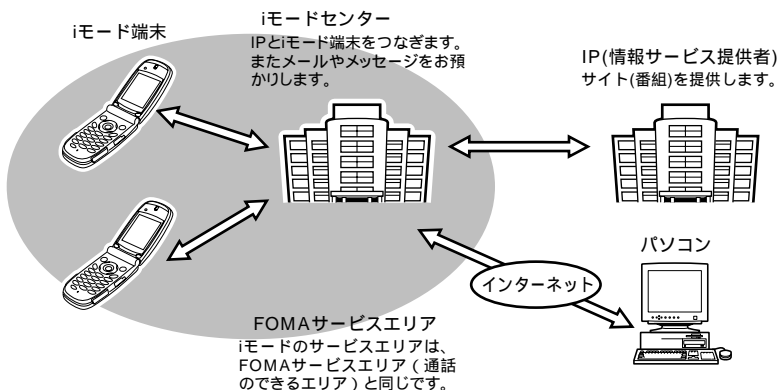
インターネット接続

iモード端末からインターネットに接続し、iモード対応のホームページにアクセスできるサービスです。

iモードメール

iモード端末はもちろん、インターネットを経由してe-mail(電子メール)ともメールをやりとりできるサービスです。

サービスのしくみ



iモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは

お問い合わせ先(ドコモグループ各社)

ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの) **151(無料)**

一般電話からはご利用になれません。

一般電話等からの場合



0120-800-000

ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

おしらせ

FOMAサービスをご契約いただきますと、当日よりすべてのサービスをご利用になれます。moviaサービス(iモードをご契約)からFOMAサービスへ契約を変更された場合、moviaサービスでご利用いただいていた「マイメニュー」の内容は引き継がれます。ただし、サイトによってはFOMAに「マイメニュー」が引き継がれない場合もありますので、その場合は再登録をしてください。なお、「マイメニュー」引継ぎ対応サイトについては、iMenu内の「お知らせ&ヘルプ」で確認できます。moviaサービス(iモードをご契約)からFOMAサービスへ契約を変更された場合、iモードメールアドレスはそのままご利用になれます。

iモードは、送受信した情報量(パケット数)に応じて課金されるサービスです。本書では、料金に関する情報は記載しておりません。利用料金については、iモードご契約時にお渡しする『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。

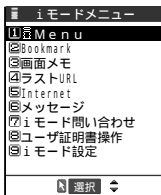
iモードのサービス内容は変更することがありますので、詳しくは『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。

メインメニューのメールグループとiモードグループについて



アイコン	アイコン名	説明	参照ページ
	メール	メールメニューを表示します。	P.141
	iモード	iモードメニューを表示します。	下記
	iアプリ	iアプリメニューを表示します。	P.67

iモードメニューについて



項目	説明	参照ページ
1 iMenu	iモードセンターへ接続すると、最初に表示されるページです。ここから各サイト(番組)や「週刊iガイド」などへアクセスします。	P.26、P.43
2 Bookmark	お気に入りのホームページアドレスをiモード端末に登録しておく、次回から直接アクセスできます。	P.53
3 画面メモ	iモード端末に保存されたiモードの画面を見ることができます。	P.57
4 ラストURL	最後に表示したサイトやインターネットホームページを表示します。	P.61
5 Internet	ホームページアドレスを直接入力することでインターネットのiモード対応ホームページに接続することができます。	P.62
6 メッセージ	受信したメッセージリクエスト/フリーを表示します。メッセージサービスは、欲しい情報が自動的にiモード端末に届くサービスです。	P.105
7 iモード問い合わせ	iモードセンターにiモードメールやメッセージリクエスト/フリーが保管されているかどうか問い合わせをします。	P.104
8 ユーザ証明書操作	FirstPassセンターに接続して、ユーザ証明書の発行申請やダウンロードなどを行います。	P.48
9 iモード設定	iモードに関するFOMA端末の設定を行います。	P.117

サイト(番組)接続サービス

簡単なボタン操作でサイトに接続して、IP(情報サービス提供者)が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。

たとえば、銀行の残高照会・振込、チケット予約、ニュース、辞書検索、着信メモディのダウンロードなど、さまざまなオンラインサービスがあります。

サイトを表示するには

iモードセンターに接続すると、最初にiMenuが表示されます。ここから各サイトや「週刊iガイド」などへアクセスします。

サイトの表示方法は P.42



画面はイメージです。設定によっては、表示が異なる場合があります。

項目	説明
①マイメニュー	よく利用するサイトを登録しておく、次回から簡単にサイトに接続できます(P.52、P.53)。有料サイトなどは申し込み時に自動的に登録され、合わせて45件まで登録できます。
②週刊iガイド	新着サイトやおすすめサイトなど、最新のサイト情報を月～金曜日の毎日更新して掲載します。
③メニューリスト	すべてのサイトをジャンル別・地域別に紹介するリストです。ここから見たいサイトを選んで接続できます。
④とくするメニュー	楽しいキャンペーン情報、プレゼントやお得な割引クーポン情報などが掲載されています。毎週情報が更新されます。(提供：D2コミュニケーションズ)
⑤iエリア	場所やその周辺に関する天気・地図・タウン情報などを簡単にご利用になれます。
⑥かんたん検索	・iアプリサーチ iアプリを情報料が無料のものやゲームができるものなど、利用シーン別に紹介しています。 ・便利サイトサーチ メニューリストの中から、日常的に利用できる便利な実用系サイトを利用シーン別にピックアップして掲載します。
⑦マイボックス	サービスを提供するお店やサイトにあらかじめ登録することにより簡単にアクセスする会員向けのサービスです。一度登録すると簡単にアクセスできるようになります。
⑧オプション設定	iモードメールの設定やiモードパスワードの変更などを行います。
⑨お知らせ&ヘルプ	ドコモからのお知らせや、iモードの利用方法やご利用規則を掲載しています。
English	iMenuを英語表記に変更します。

おしらせ

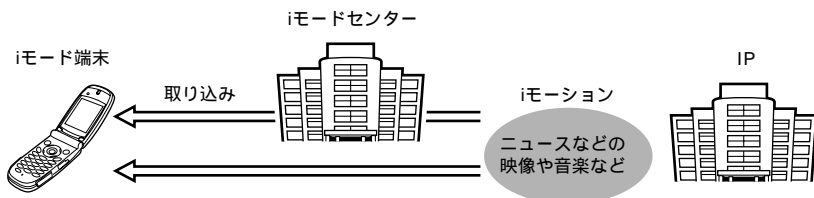
サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの(iモード有料サイト)があります。IPが提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。iモードアイコンが点滅していても、iモードセンターとの通信中以外は、パケット通信料はかかりません。デュアルネットワークサービスご契約の場合、iMenu画面などが一部異なります。

こんなこともできます

iモード

iモードのサイトから映像や音をiモード端末に取り込み、再生したり、待受画面として楽しむことができます。

- ・ iモードを取り込むには P.95
- ・ iモードを再生するには P.95
- ・ iモードを自動再生設定するには P.119



iモードを取り込むには、iモードセンターを経由するパケット通信と、経由しないデジタル通信の2種類があります。

着iモード

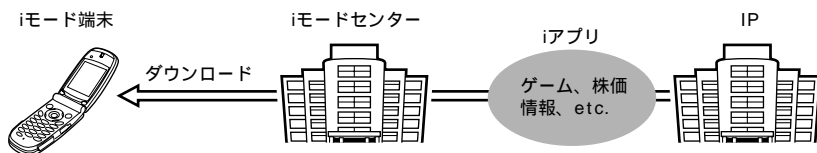
iモードのサイトからiモードをiモード端末に取り込み、着iモードに設定できます。メロディだけではなく好きな歌手などの歌声なども着iモードとしてご利用いただけます。一部の対応していないiモードは着iモードに設定できません。

- ・ 着iモードを設定するには 『基本編』のP.163

iアプリ

iアプリをサイトからダウンロードする(取り込む)ことにより、iモード端末をより便利に活用いただけます。たとえば、iモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のiアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックすることなどが可能です。また、地図のiアプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。

- ・ iアプリをダウンロードするには P.68
- ・ iアプリを実行するには P.72
- ・ iアプリを自動起動するには P.78



iアプリ待受画面

iアプリ待受画面では、iアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の詳細情報を待受画面に表示させたり、好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。

- ・ iアプリ待受画面を設定するには P.85、『基本編』のP.177

iアプリDX

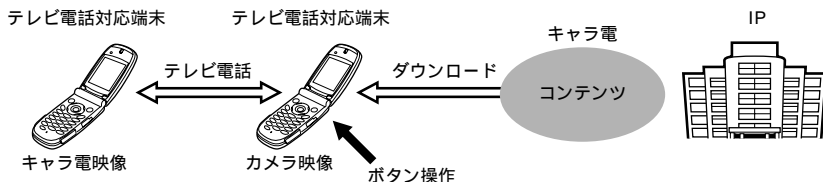
iアプリDXでは、iモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信かを知らせたり、メールと連動して株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、iアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

・iアプリDXとは P.65

キャラ電

テレビ電話利用時に相手のテレビ電話対応端末に自分の映像を映す代わりにキャラクタを表示させ、キャラクタが音に反応して口を動かしたり、ボタン操作でキャラクタを動作させたりできます。お好きなキャラクタをダウンロードし、そのキャラ電を撮影した静止画・動画ファイルを待受画面に設定したり、メールに添付して送ることもできます。メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像ファイル・動画ファイルは送信できません。

- ・キャラ電をダウンロードするには P.93
- ・キャラ電を確認するには P.324
- ・キャラ電を設定するには P.324
- ・キャラ電を操作するには P.325
- ・キャラ電を撮影するには P.327



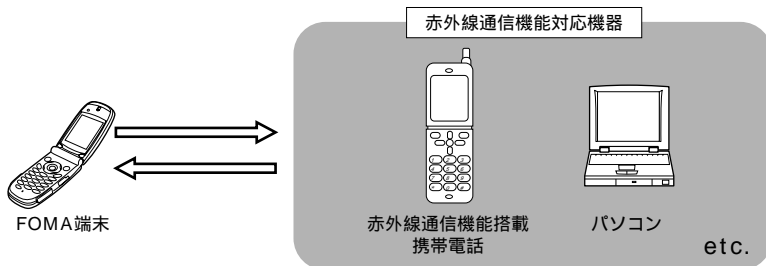
赤外線通信機能

赤外線通信機能が搭載された携帯電話、パソコンなどと電話帳やメール、ブックマークなどを送受信することができます。

また、iアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動して、より広がった使いかたができます。

：相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

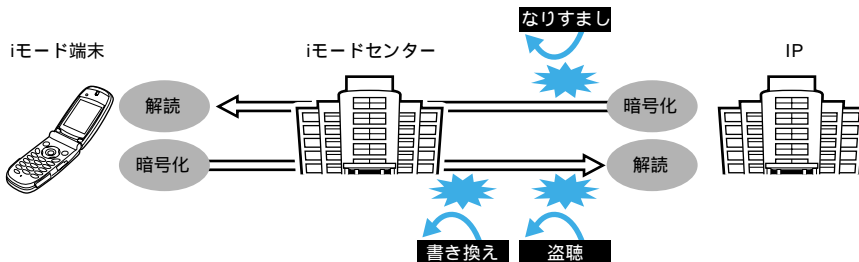
赤外線通信機能を利用するには P.340



SSL通信

SSLとはSecure Sockets Layerの略で、認証 / 暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすまし や書き換えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやり取りできるようにしています。SSL通信には、iモード端末から特別な操作なしに、端末内に保存されているCA (Certification Authority) 証明書 (以降「SSL証明書」) を利用してSSLに対応したサイト (SSLページ) を表示するものと、FirstPassセンターからダウンロードしたユーザ証明書を利用してSSLに対応したサイト (SSLページ) を表示するものと2つあります。なお、サイトによって使用する証明書は異なります。

- ・iモード端末に保存されているSSL証明書を利用してページを表示するには P.46
- ・FirstPassのユーザ証明書を利用するには P.48



なりすまし：第三者がサイトになりすまして、不正にお客様の情報を入手したりすることです。

FOMAカード動作制限機能

お客様の情報 (電話番号、電話帳 (一部) など) を保存しているFOMAカードを、iモード端末に挿入して、サイトからダウンロードしたりメールから取得したメロディ・静止画・動画などのファイルを動作制限します。また、別のFOMAカードに差し替えたり、またはFOMAカードを挿入していない状態で電源を入れた場合、取得したファイルの再生や表示をできなくする機能です。

FOMAカード動作制限機能については P.19

iメロディ

サイトから最新の曲やお好みの曲をiモード端末にダウンロードし、着信音として利用できます。 P.115

iモーションも着モーションとして設定でき、メロディだけではなくお好きな歌手の歌声と動画なども着信音、着信画像としてご利用いただけます。 P.94

画像、アニメーション

サイトからお好みの画像やアニメーションをiモード端末にダウンロードして、待受画面やウェイクアップ表示などに設定できます。 P.113

ダウンロード辞書

サイトから方言や専門用語などの辞書をiモード端末にダウンロードして、変換用辞書として設定できます。 P.113

メッセージサービス

メッセージサービスを提供するサイトにお申し込みいただくことにより、欲しい情報(メッセージ)が自動的にお客様のiモード端末に届くサービスです。

メッセージサービスには、メッセージリクエストとメッセージフリーがあります。

メッセージリクエスト	メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと、欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージフリー	オプション設定で受信設定をすると、パケット通信料無料で届けられるメッセージです。

メッセージサービスの受信方法は P.102、P.104

電源が入っていない場合や「圏外」が表示されている場合などで受信できないときは、メッセージリクエスト/フリーはiモードセンターに保管されます。

・iモードセンターでのメッセージの保管件数、保管期間は次のとおりです。最大保管件数、最大保管期間を超えた場合は、最も古いメッセージから順に削除されます。

	最大保管件数	最大保管期間
メッセージリクエスト	300件	72時間
メッセージフリー	300件	72時間

・iモードセンターに保管されたメッセージリクエスト/フリーは、iモード問い合わせにより受信できます。 P.104

iモードパスワード

有料サイトの申し込みやマイメニューの登録・解除、iモードメールの設定などを行うときには「iモードパスワード」が必要になります。ご契約時は「0000」(数字のゼロ4つ)に設定されていますので、お客様のお好みでFOMA端末から自由にiモードパスワードを変更してください。 P.51

iモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

インターネット接続

インターネットホームページのアドレス(URL)を入力することにより、インターネットに接続し、iモード対応のインターネットホームページを表示することができます。

インターネットホームページの表示方法は P.63

お知らせ

iモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。iモード対応のインターネットホームページとは、iモード対応のタグなどで作成されたホームページのことです。パソコン上での表示とは異なる場合があります。

URLが半角256文字を超えるインターネットホームページは、表示できない場合があります。データ量の大きいページに接続した場合などは、読み込み中止操作により通信を中断できます。

便利な機能



サイトのページやメールに表示されている電話番号やメールアドレス、URLなどの情報を利用して、簡単な操作で音声電話やテレビ電話をかけたりメールを送信したりすることができます。

機能	説明	参照ページ
Phone To 機能	電話番号が表示されている各サイト、メッセージリクエスト/フリー、メールの画面などから簡単な操作で音声電話やテレビ電話をかけることができます。	P.111
Mail To 機能	メールアドレスが表示されている各サイト、メッセージリクエスト/フリー、メールの画面などから新規メール画面を表示することができます。	P.112
Web To 機能	URLが表示されている各サイト、メッセージリクエスト/フリー、メールの画面などからインターネットホームページに接続できます。ただし、一部ご利用になれないサイトがあります。	P.113

その他にも、メロディや辞書の取り込みと保存、画像の保存、iアプリの起動、iモーションの取り込みと保存、電話番号やメールアドレスの電話帳への登録などができます。

P.113

キャッシュに記憶されたページを表示するときは

- ・キャッシュとは、表示したサイトやインターネットホームページなどのデータを一時的に記憶する端末内の場所です。サイトやインターネットホームページなどを表示中に  を押してページを移動すると、通信を行わずにキャッシュとして記憶されたページを表示します。ただし、端末のキャッシュサイズをオーバーしていたり、必ず最新情報を読み込むように設定(作成)されたページを表示するときは、 を押した場合でも通信を行います。また、ページがキャッシュに記憶されていても、そのページの日付時刻情報が更新されている場合は通信を行って最新情報を表示します。
- ・キャッシュから読み込んだ場合でも、以前接続したときに入力した文字や設定は表示されません。
- ・iモードを終了すると、キャッシュはクリアされます。
- ・SSL対応のページをキャッシュから読み込んだときは、「SSLページを表示します」というメッセージが表示されます。

iモードのご使用にあたって

- ・サイト(番組)やインターネット上のホームページ(インターネットホームページ)の内容は一般に著作権法で保護されています。これらのサイト(番組)やインターネットホームページからFOMA端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- ・FOMA端末に保存されている内容(メール、メッセージリクエスト/フリー、画面メモ、iアプリ、iモーション)やブックマークなどの登録内容は、電池パックを外したままの状態でも約1ヶ月は記憶されていますが、それ以上経過すると消失する可能性があります。また、FOMA端末の故障、修理やその他の取扱いによっても消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・FOMA端末の修理などを行った場合、iモード、iアプリ、iモーションにて取り込んだ情報は、著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れた場合、サイトから取り込んだメロディ、画像、iモーションなどや、iモードメールに添付または貼り付けられているファイル(メロディ、画像、動画やiモーション)メロディ、画像、iモーションを含んだ画面メモ、メロディ、画像が添付または貼り付けられているメッセージリクエスト/フリーなどの表示や再生ができません。

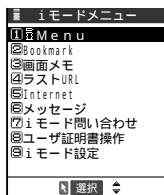
iモードの基本操作について

iモードの基本操作について説明します。


iモードとは P.24

iモードを開始します


1 待受画面表示中に [i mode] を押す



iモードメニュー画面が表示されます。iモードメニューは9項目あります。iモードの主な操作はこの画面からはじめます。


 を選んでもiモードメニューを表示することができます。


「圏外」が表示されているとき


サービスエリア外または電波が届かないところにいます。iモードのサービスエリアはFOMAのサービスエリア(通話のできるエリア)と同じです。「」など電波の受信レベル表示が点灯するところまで移動してください。


- ・iモードは通信を使ったサービスのため、「圏外」が表示されているときはご利用になれません。

- ・「圏外」が表示されているときでも、iモードメニューを表示することはできます。

「」が点滅するとき

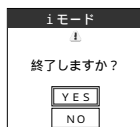
サービスエリア内でiモードのサービスを受けていないときに、サイト(P.42)やインターネット(P.63)への接続やiモードメールの送信(P.152)などをしようとしたときは「」が点滅し、iモード開始まで時間がかかることがあります。



「」が点滅しているとき

iモードのサービスを受けているとき(iモード中)は「」が点滅し、

iモードを終了します

1 iモード中に を押し、「YES」を選ぶ



「」が点滅した後、「」が消灯します。

iモードメールやメッセージリクエスト/フリーの送受信中や問い合わせ中に **END** を1秒以上押すと、iモードメールやメッセージリクエスト/フリーの送受信を中止します。ただし、中止したタイミングにより送受信してしまうことがあります。

END を2秒以上押したときは、電源が切れます。

「圏外」が表示されているときや、FOMA端末の電源が入っていないときにiモードメールやSMS、メッセージリクエスト/フリーが送られてきた場合は、iモードセンターでiモードメールとメッセージリクエスト/フリーを、SMSセンターでSMSを、それぞれ保管します。

メニュー項目の選びかた

メニュー項目の選びかたには次の2種類の方法があります。

ここでは例として、iMenuから「メニューリスト」を選ぶ操作を説明します。

ダイヤルボタンで項目番号を押して選ぶ方法(ダイレクトキー選択)

1 項目番号と同じ数字のダイヤルボタンを押す



ダイレクトキー選択については、一部ご利用になれないサイトがあります。

マルチファンクションボタンで項目を選ぶ方法

1 **FN** を押して選びたい項目を反転表示し、**OK** [選択] を押す

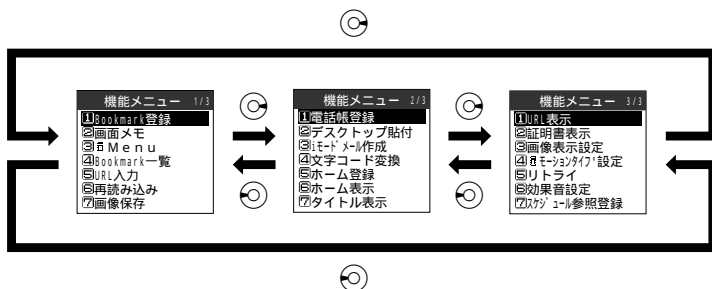


機能メニューが複数ページあるときは

次のような操作で前後のページを表示することができます。

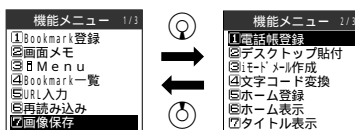
⌚(または[ホーム])...前のページを表示します。

⌚(または[メモ/確認])...次のページを表示します。



一番下の項目が反転表示のときに⌚...次のページを表示します(一番上の項目が反転します)。

一番上の項目が反転表示のときに⌚...前のページを表示します(一番下の項目が反転します)。



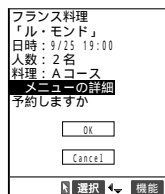
: 機能メニューが1ページだけの場合は、一番上の項目が反転表示のときに⌚を押すと一番下の項目へ、一番下の項目が反転表示のときに⌚を押すと一番上の項目へ移動します。

サイトやホームページでの文字入力などのしかた

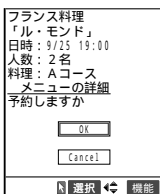
サイトやインターネットホームページでアンケートや申し込みなどをするとときに、入力する枠や選択するボタンなどが表示されることがあります。

「OK」や「Cancel」などのボタン

画面に「OK」や「Cancel」などのボタンが表示されることがあります。それらを選ぶときは、⌚を押して「OK」や「Cancel」を選びます。ボタンが選ばれている状態で⌚[選択]を押すと、選んだ内容の動作をします。



「OK」「Cancel」とも選ばれていない状態





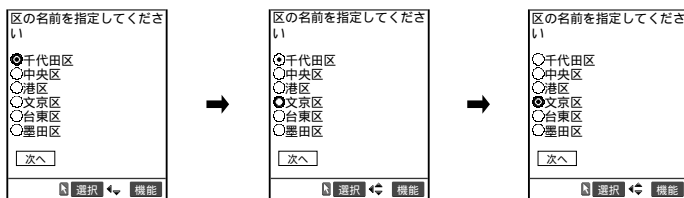
「OK」が選ばれている状態

ラジオボタン

選択肢の中から1つだけ選ぶことができます。●が選ばれた状態です。

<例:「文京区」を選ぶとき>


1  を3回押して「文京区」を選び、 [選択] を押す

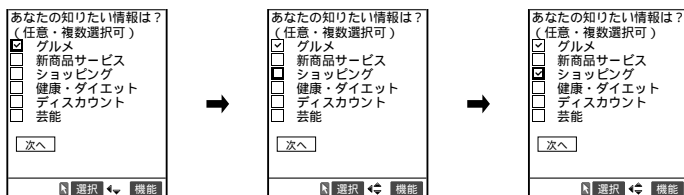


チェックボックス


選択肢の中から複数の項目を選ぶことができます。☑が選ばれた状態です。

<例:「ショッピング」を追加で選ぶとき>

1  を2回押して「ショッピング」を選び、 [選択] を押す




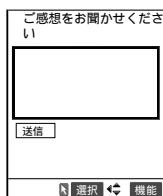
選択を解除する場合

☑を選んで [選択] を押す
に戻ります。

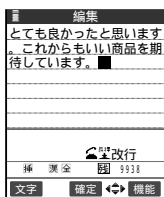
テキストボックス

文字を入力することができます。テキストボックスを選ぶと文字入力画面が表示されます。

1 テキストボックスを選んで [選択] を押す




2 文字を入力して [確定] を押す

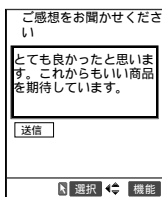


編集
とても良かったと思います。これからもいい商品をお待ちしています。■

■ 改行

種 別 全 国 3338


文字 確定  機能

ご感想をお聞かせください
い

とても良かったと思います。これからもいい商品をお待ちしています。

送信

選択  機能

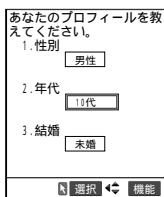
文字の入力のしかた 『基本編』の P.298

プルダウンメニュー

選択肢の一覧から項目を選ぶことができます。選択肢の一部のみが見えている状態で表示され、プルダウンメニューを選ぶと隠れている複数の選択肢が一覧で表示されます。

<例：「年代」を設定するとき>

1 設定したいプルダウンメニューを選んで [選択] を押す




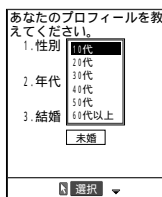
あなたのプロフィールを教えてください。

1. 性別

2. 年代

3. 結婚

選択  機能





あなたのプロフィールを教えてください。

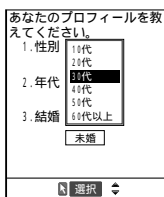
1. 性別

2. 年代

3. 結婚

選択 

2 を押して項目を選び、 [選択] を押す




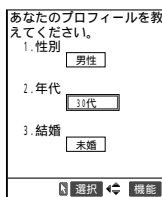
あなたのプロフィールを教えてください。

1. 性別

2. 年代

3. 結婚

選択 





あなたのプロフィールを教えてください。

1. 性別

2. 年代



3. 結婚



選択  機能

選んだ項目が表示されます。

プルダウンメニュー内に が表示された場合

複数の項目を選ぶことができます。

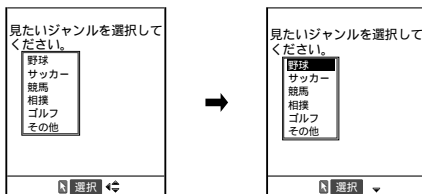
 で を移動させ、  [選択] を押すごとに 内の項目の選択 / 選択解除を繰り返します。

項目を選び終わった後に  [完了] または  を押すと選択操作が完了します。

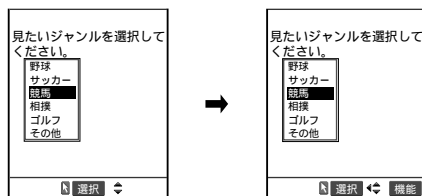
セレクトボックス

選択肢の一覧から項目を選ぶことができます。サイトによっては選択肢の一部のみ表示されている場合もあります。





1 設定したいセレクトボックスを選んで [選択] を押す



2 を押して項目を選び、 [選択] を押す



選んだ項目は反転表示されます。
セレクトボックス内に が表示された場合

複数の項目を選ぶことができます。
 で を移動させ、  [選択] を押すごとに 内の項目の選択 / 選択解除を繰り返します。
項目を選び終わった後に  [完了] または  を押すと選択操作が完了します。

User IDやPasswordを入力します

サイトによっては認証画面が表示されることがあります。サイトによって表示される画面は異なります。

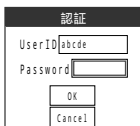
1 「User ID」のテキストボックスを選ぶ



2 User IDを入力して●[確定]を押す



3 「Password」のテキストボックスを選ぶ



4 Passwordを入力して●[確定]を押す



入力したPasswordは「*」で表示されます。

「文字入力方式」を「モード2(2タッチ方式)」に設定しているときは、Passwordを入力するときも「モード2(2タッチ方式)」の方法で入力してください。『基本編』のP.333

5 「OK」を選ぶ

User ID、Passwordの認証がはじまります。

操作を中止する場合

「Cancel」を選ぶ

認証に失敗した場合は、「パスワードをご確認ください(401)」というメッセージが表示されます。もう一度認証するときは「YES」を選びます。

サイトのページやメッセージリクエスト/フリー、iモードメール、SMSなどを表示している場合に、文章や一覧が画面内におさまらず続きがあるときは、スクロールすることにより続きを見ることができます。

行単位でスクロールするとき

Ⓔ…行単位で下方向にスクロールされ、文章や一覧の続きが表示されます。

Ⓕ…行単位で上方向にスクロールされ、前の文章や一覧が表示されます。

ⒼまたはⒺを押したときにスクロールする行数を、1行、3行、5行に設定できます。

P.118

画面単位でスクロールするとき

Ⓔ[メモ/確認]…画面単位で下方向にスクロールされ、文章や一覧の続きが表示されます。

Ⓔ[ホーム] …画面単位で上方向にスクロールされ、前の文章や一覧が表示されま

サイト機能一覧

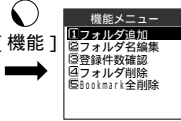
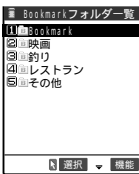
サイト機能の画面および機能メニューから可能な操作の一覧を示します。

< 待受画面 >



< iモードメニュー >

< Bookmarkフォルダー一覧画面 >



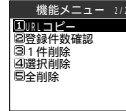
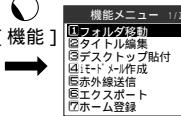
機能メニュー

- ①フォルダ追加.....新しいフォルダを追加します。 P.55
- ②フォルダ名編集.....追加したフォルダの名前を編集します。 P.55
- ③登録件数確認.....すべてのフォルダ内のブックマークの件数を表示します。 P.56
- ④フォルダ削除.....追加したフォルダを削除します。 P.55
- ⑤Bookmark全削除.....ブックマークをすべて削除します。 P.55

○で選んで

○[選択]

< Bookmark一覧画面 >



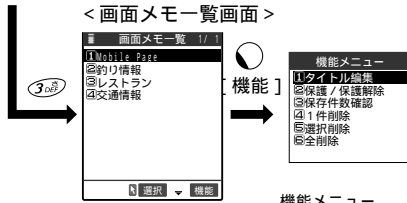
機能メニュー 1/2

- ①フォルダ移動.....ブックマークを別のフォルダへ移動します。 P.56
- ②タイトル編集.....ブックマークのタイトルを編集します。 P.56
- ③デスクトップ貼付.....ブックマークのURLをデスクトップアイコンとして貼り付けます。『基本編』のP.170
- ④iモードメール作成.....ブックマークのURLを本文に貼り付けたiモードメールを作成します。 P.168
- ⑤赤外線送信.....ブックマークを赤外線送信します。 P.354
- ⑥エクスポート.....ブックマークをminiSDメモリーカードへエクスポートします。 P.380
- ⑦ホーム登録.....ブックマークのURLをホームURLに登録します。 P.60

機能メニュー 2/2

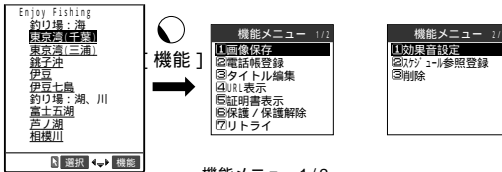
- ①URLコピー.....ブックマークのURLをコピーします。 P.56
- ②登録件数確認.....フォルダ内のブックマークの件数を表示します。 P.56
- ③1件削除.....ブックマークを1件削除します。 P.56
- ④選択削除.....ブックマークを選んで削除します。 P.56
- ⑤全削除.....フォルダ内のブックマークをすべて削除します。 P.56

<iモードメニュー>



で選んで
[選択]

<画面メモ詳細画面>



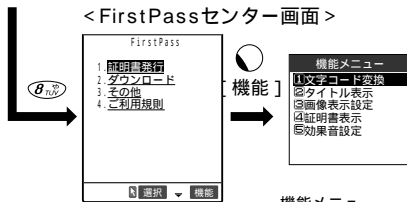
機能メニュー-1/2

- ①画像保存.....画面メモに表示されている画像を保存します。 P.115
- ②電話帳登録.....画面メモに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。 P.117
- ③タイトル編集.....画面メモのタイトルを編集します。 P.59
- ④URL表示.....画面メモのURLを表示します。 P.58
- ⑤証明書表示.....画面メモがSSL対応ページの場合にSSL証明書の内容を表示します。 P.47
- ⑥保護/保護解除.....画面メモを保護/保護解除します。 P.59
- ⑦リトライ.....画面メモに表示されているFlash画像やアニメーションを最初から再生します。

機能メニュー-2/2

- ①効果音設定.....Flash画像の効果音について設定します。 P.124
- ②スケジュール参照登録...画面メモを参照しながらスケジュールを登録します。『基本編』のP.337
- ③削除.....画面メモを削除します。 P.59

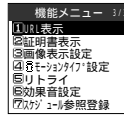
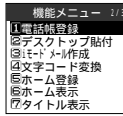
<iモードメニュー>



機能メニュー

- ①文字コード変換.....表示中のページが正しく表示されていないときに、文字コードを変えて表示し直します。 P.46
- ②タイトル表示.....表示中のページのタイトルを表示します。 P.45
- ③画像表示設定.....ページの画像表示について設定します。 P.120
- ④証明書表示.....表示中のページがSSL対応の場合にSSL証明書の内容を表示します。 P.47
- ⑤効果音設定.....Flash画像の効果音について設定します。 P.124

<サイトのページ画面>



機能メニュー 1/3

- ①Bookmark登録.....表示中のページのURLをブックマークに登録します。 P.53
- ②画面メモ.....表示中のページを画面メモに保存します。 P.57
- ③iMenu.....iMenu画面を表示します。 P.43
- ④Bookmark一覧.....登録されているブックマークの一覧を表示し、ブックマークを選んでページを表示します。 P.40
- ⑤URL入力.....URLを入力してサイトに接続します。 P.63
- ⑥再読み込み.....表示中のページを新しい情報に更新します。 P.45
- ⑦画像保存.....表示中のページに表示されている画像を保存します。 P.115

機能メニュー 2/3

- ①電話帳登録.....表示中のページに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。 P.117
- ②デスクトップ貼付.....表示中のページのURLをデスクトップアイコンとして貼り付けます。
『基本編』のP.170
- ③iモードメール作成.....表示中のページのURLを本文に貼り付けたiモードメールを作成します。 P.168
- ④文字コード変換.....表示中のページが正しく表示されていないときに、文字コードを変えて表示し直します。 P.46
- ⑤ホーム登録.....表示中のページのURLをホームURLに登録します。 P.60
- ⑥ホーム表示.....ホームURLに登録されているページを表示します。 P.61
- ⑦タイトル表示.....表示中のページのタイトルを表示します。 P.45

機能メニュー 3/3

- ①URL表示.....表示中のページのURLを表示します。 P.45
- ②証明書表示.....表示中のページがSSL対応の場合にSSL証明書の内容を表示します。 P.47
- ③画像表示設定.....ページの画像表示について設定します。 P.120
- ④モーションタイプ設定.....取り込むiモードタイプを設定します。 P.121
- ⑤リトライ.....表示中のページのFlash画像やアニメーションを最初から再生します。
- ⑥効果音設定.....Flash画像の効果音について設定します。 P.124
- ⑦スケジュール参照登録.....表示中のページを参照しながらスケジュールに登録します。 『基本編』のP.337

サイトを利用します

IP (情報サービス提供者) が提供する各種サービスをご利用いただけます。
FOMA端末のディスプレイ上で、銀行の残高照会や各種チケットの予約などができます。

サイトによりサービス内容が異なります。また、別途お申し込みが必要なことがあります。

サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの(iモード有料サイト)があります。

1 「iMenu」の順に選ぶ



iモードを開始します P.32
 ページ取得中のアニメーションが表示されます。
 ページの取得を中止する場合
 中止 を押す

2 「メニューリスト」を選び、利用したいサイトを選ぶ



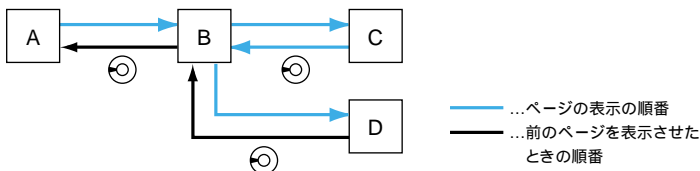
おしらせ

表示したサイトの画面で下線が表示されている項目があるときは、その項目を選ぶことができます。選ぶと反転表示されます。

現在表示しているページの前のページに戻るときは を押します。いったん戻って、また次のページを表示するときは を押します。

を続けて押すことにより、これまで表示したページをさかのぼって表示することができます。ただし、途中で を押して前のページに戻り(「C」から「B」に戻る) そのページからほかのページ(「B」から「D」)を表示させたときは、「D」から を2回押しても「C」は表示されません。「D」「B」「A」の順で前のページを表示します。

画面「A」「B」「C」「B」「D」の順番でページを表示させたとき



Flash画像が表示されている場合は、表示動作が異なることがあります。

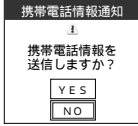
サイトによっては、サイトの画面の表示色数がFOMA端末の最大表示色数を超えるため、実際のサイトの画面と表示が異なることがあります。

スケジュール参照登録を実行すると、表示しているページを見ながらスケジュールを登録できます。『基本編』のP.335

携帯電話情報について

サイトやインターネットホームページの画面を表示しているときに項目を選ぶと、携帯電話情報通知画面が表示されることがあります。

携帯電話情報が送信される前には必ず、「携帯電話情報通知」をするかしないかの選択画面が表示されます。自動的に送信されることはありません。




携帯電話情報を送信してもよい場合

「YES」を選ぶ

携帯電話情報を送信したくない場合

「NO」を選ぶ

操作を中止する場合

を押す



携帯電話情報通知画面を表示する前の画面に戻ります。

お知らせ




送信するお客様の携帯電話情報 (FOMA端末の製造番号、FOMAカードの識別番号)は、インターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。

サイトなどでの画像表示について

サイトやインターネットホームページの画面に、画像が表示されることがあります。

- ・本端末では、GIF形式、JPEG形式の各画像と、Flash画像 (P.45) を表示します。ただし、画像によってはそれらの形式であっても表示できない場合があります。
- ・画像の取得中は「」が表示され、取得が終わると画像を表示します。
- ・画像を表示するかしないかを「画像表示設定 (P.119)」で設定できます。サイトなどのページを表示中に、機能メニューの「画像表示設定」で「表示しない」から「表示する」に切り替えた場合、「再読み込み (P.45) をすると「」の画像が表示されます。なお、「表示する」から「表示しない」に切り替えた場合は、取得済みの画像は表示されたままです。

表示される画像のアイコンについて

-  : 画像を取得中、または「画像表示設定」を「表示しない」に設定している場合に表示されます。
-  : 画像を取得できなかった場合や画像が表示できない形式の場合に表示されます。
-  : 取得できない画像の場合に表示されます。

Flash画像の操作をします

絵や音によるアニメーション技術を用いたFlash画像に対応しており、多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用することができます。また、Flash画像を取り込み、待受画面などに設定することもできます。

項目を選んでほかのページを表示したり、メニューを選んで各種の操作をすることができます。また、情報の部分を選んでリンク先のページを表示するなどの操作をすることができます。画像保存(P.114)で保存したFlash画像を再生したとき、サイトでの見えかたと異なる場合があります。

Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。

画面下部に「◀▶」が表示されていなくても、Flash画像の操作ができることがあります。

また、Flash画像を利用した画面によっては、ニューロポインターが利用できない場合があります。この場合、画面の下に「N」は表示されません。

「画像表示設定」を「表示しない」に設定した場合、Flash画像も表示されません。

お知らせ

Flash画像を再度動作させたい場合は、機能メニューから「リトライ」を選んでください。P.42
Flash画像によっては効果音が鳴るものがあります。効果音を鳴らさない場合は、機能メニューから「効果音設定」を選んで「OFF」に設定してください。また、パイプレータ設定中は、効果音が鳴っていても振動しません。

再生中に120秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。再開するには、いずれかのボタンを押してください。

保存したFlash画像は、サイトでの見え方と異なる場合があります。

ページの情報を更新します

[再読み込み](#)

表示中のページを新しい情報に更新します。

1 ページを表示中に、機能メニューから「再読み込み」を選ぶ

サイト機能一覧 P.40

お知らせ

アンケートの回答などの送信完了画面で「再読み込み」を行った場合、再度送信するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと、一度送信した内容と同じものが再び送信されますのでご注意ください。

ページのURLやタイトルを表示します URL表示/タイトル表示

表示中のページのURLやタイトルを表示して確認することができます。

URL表示は半角で512文字まで、タイトル表示は半角で128文字まで、それぞれ表示できます。タイトルがない場合は「無題」と表示されます。

URLやタイトルの編集はできません。

1 ページを表示中に、機能メニューから確認したい項目を選ぶ



サイト機能一覧 P.40


タイトルを確認したい場合

「タイトル表示」を選ぶ

URLを確認したい場合

「URL表示」を選ぶ

表示画面にすべてのタイトルまたはURLが表示されていないときは、を押してカーソルを表示し、でカーソルを移動して確認します。

カーソルを表示した場合は、もう一度を押すとカーソルが消えます。

「OK」を選ぶとページの画面に戻ります。

文字を正しく表示します

文字コード変換

ページの文字が正しく表示されていないときに、文字コードを変えて表示し直します。

1 ページを表示中に、機能メニューから「文字コード変換」を選ぶ

サイト機能一覧 P.40

正しく表示されないときは、操作を繰り返します。

お知らせ

文字コード変換の操作を繰り返しても正しく表示できないことがあります。

文字コード変換の操作を4回繰り返すと、元の表示に戻ります。

正しく表示されているときに文字コード変換の操作を行うと、正しく表示されなくなることがあります。

SSL通信

SSL対応のページを表示します

FOMA端末は、SSL通信に対応したサイトや「https://」からはじまるインターネットホームページ(SSLページ)を表示できます。

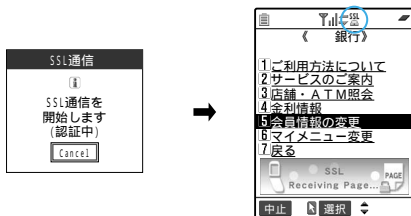
SSL通信で使用する証明書には、次のものがあります。

証明書の種類	説明	証明書の保存場所	参照ページ
CA証明書	認証会社が発行した証明書	FOMA端末内 (お買い上げ時)	P.47
ドコモCA証明書	FirstPassセンターへ接続するために必要な証明書	FOMAカード(緑色)内 (ご契約時)	P.48
ユーザ証明書	iモードメニューから「ユーザ証明書操作」を選択することにより、FirstPassセンターからダウンロードした証明書	FOMAカード(緑色)内 (ダウンロード時)	P.48

SSL対応のページに接続します

SSL対応のページに接続するとき、SSL対応のページから通常のページを表示するときにメッセージが表示されます。

1 SSL対応のページを表示する



SSL対応のページを表示しているときは、ディスプレイに「SSL」が表示されます。

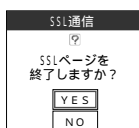
認証中に中止する場合

選択 を押す

認証後のページを取得中に中止する場合

中止 を押す

2 SSL対応のページから通常のページを表示する



SSL通信を終了するかどうかの確認メッセージが表示されます。
通常のページを表示する

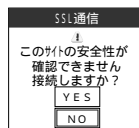
「YES」を選ぶ

SSL通信が終了し、通常のページが表示されて「SSL」の表示が消えます。

おしらせ

SSL対応のページを表示するときに「このサイトの安全性が確認できません 接続しますか?」などのメッセージが表示されることがあります。これらは、ページのSSL証明書が期限切れになっている場合や、サポートしていない場合などに表示されます。接続する場合は「YES」を選ぶと続けてページを表示できますが、これらのサイトではお客様の個人情報(クレジットカード番号、連絡先など)を安全に送信できない可能性がありますのでご注意ください。接続しない場合は「NO」を選びます。「SSL通信を切断了ました」というメッセージが表示され、

選択 を押すと元の画面に戻ります。



表示中のページのSSL証明書を確認します

SSL対応のページを表示しているとき、そのページのSSL証明書を確認することができます。

サイトのページからだけでなく、画面メモからでも同じ手順で証明書を確認できます。

1 証明書を確認したいページを表示する

サイトのページの場合

SSL対応のページを表示します P.46


画面メモの場合

保存した画面メモを表示します P.58

2 機能メニューから「証明書表示」を選ぶ



SSL証明書が表示され、証明書の所有者、発行元、有効期限、シリアル番号を確認できます。

証明書が複数枚あるときは、を押すと前の証明書や次の証明書を確認できます。

ユーザ証明書を利用します

ユーザ証明書は、お客様がFOMAサービスを契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカードに保存され、FirstPass対応サイトを表示できるようになります。

FirstPassセンターを利用します

ユーザ証明書を操作する < ユーザ証明書操作 >

FirstPassセンターからユーザ証明書の発行要求や、ダウンロードができます。

FOMAカード(青色)ではご利用になれません。

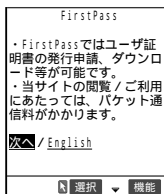
FOMAデータプランではご利用になれません。(ISP接続通信でご利用の場合は料金プランに関わらずご利用いただけます)

FirstPassセンターに接続するには、日付・時刻設定が必要です。『基本編』のP.65

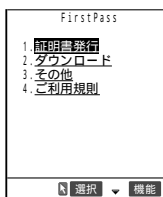
FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。

FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージリクエスト/フリーの受信ができません。

1 [mode] 「ユーザ証明書操作」 「次へ」の順に選ぶ



2 操作したい項目を選ぶ



FirstPassを利用する前に

「ご利用規則」を選び、内容をよくお読みください。

発行申請をする場合

「証明書発行」を選び、画面の指示に従って操作する

PIN2コード入力画面でPIN2コードを入力する

PIN2コードについて 『基本編』のP.195

ダウンロードする場合

「ダウンロード」を選び、画面の指示に従って操作する

ダウンロードしたユーザ証明書の確認 P.129

失効申請をする場合

「その他」を選び、「証明書失効」を選ぶ

PIN2コードを入力後、画面の指示に従って操作する

3 各操作完了画面で を押し、終了する

おしらせ

FirstPassセンターへ接続中は、次の機能が利用できません。

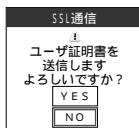
- ・テレビ電話(音声電話は利用可)
- ・iモードメールの送受信(SMSの送受信は利用可)
- ・スピードフォトメールの送信
- ・メッセージリクエスト/フリーの受信
- ・Web To機能

ユーザ証明書を新規で発行する場合も更新で発行する場合も、必ず発行申請をした後にダウンロードを行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードすることができません。

ユーザ証明書の失効申請が完了すると、そのユーザ証明書が必要なFirstPass対応サイトを表示できなくなります。

ユーザ証明書を使って接続します

1 サイトの画面でユーザ証明書の送信を確認する



ユーザ証明書を送信する場合

「YES」を選ぶ

ユーザ証明書の送信を中止する場合

「NO」を選ぶ

2 PIN2コードを入力する

PIN2コードについて 『基本編』のP.195

PIN2コードが正しく入力されると、認証中の画面が表示された後、サイトの画面が表示されず。

認証中に中止する場合

●[選択]を押す

おしらせ

ユーザ証明書がない状態でFirstPass対応サイトに接続した場合や、ユーザ証明書の有効期限が切れている場合、そのことを通知するメッセージが表示されます。接続を継続する場合は「YES」を選ぶと続けてページを表示できますが、これらのサイトではお客様の個人情報(クレジットカード番号、連絡先など)を安全に送信できない可能性がありますのでご注意ください。接続を切断する場合は「NO」を選ぶと「SSL通信を切断しました」というメッセージが表示され、●[選択]を押すと元の画面に戻ります。FirstPassセンターからユーザ証明書をダウンロードした後、再度接続してください。

FirstPassご使用にあたって

- ・ FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- ・ ユーザ証明書の発行要求をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、要求してください。
- ・ ユーザ証明書のご利用にはPIN2コード(『基本編』のP.195)の入力が必要です。PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- ・ FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、当社窓口にてユーザ証明書の失効を行うことができます。
- ・ FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- ・ FirstPass及びSSLのご利用にあたり、ドコモ及び認証会社は安全性等に関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

iモードパスワードを変更します

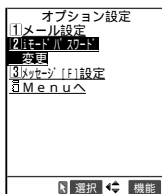
マイメニューの登録/削除、メッセージサービスやiモード有料サイトの申し込み/解約、メール設定などを行うときには4桁の「iモードパスワード」が必要になります。

ご契約時は「0000」(数字のゼロ4つ)に設定されています。お客様のお好みで、FOMA端末から自由にiモードパスワードを変更してください。

iモードパスワードは他人に知られないよう十分にご注意ください。

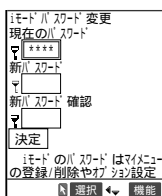
iモードパスワードを万一お忘れになったときは、FOMA端末、およびご契約されたご本人であるかどうか確認できるもの(運転免許証など)を当社窓口までご持参いただき、iモードパスワードを「0000」にリセットさせていただくことになります。

1 「iMode」▶「iMenu」▶「オプション設定」▶「iモードパスワード変更」の順に選ぶ



iMenu P.43

2 「現在のパスワード」を選び、現在のiモードパスワードを入力する



入力したiモードパスワードは「*」で表示されます。

3 「新パスワード」を選び、新しく設定するiモードパスワードを入力する

iモードパスワードは4桁の数字で入力してください。

4 「新パスワード確認」を選び、新しく設定するiモードパスワードを再度入力する

操作3で入力した数字と同じものを入力します。

5 「決定」を選ぶ

iモードパスワードが変更され、変更したことを通知するメッセージが表示されます。

「現在のパスワード」が間違っている場合

iモードパスワードが間違っていることを通知するメッセージが表示されます。

「新パスワード」と「新パスワード確認」が違っている場合

iモードパスワードが一致しないことを通知するメッセージが表示されます。

マイメニューを利用します

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単に接続できます。

マイメニューは最大45件まで登録できます。

マイメニューに登録できないサイトもあります。

有料サイトに利用申し込みをすると自動的にマイメニューに登録されます。

マイメニュー登録にはiモードパスワードが必要です。

マイメニューに登録します

1 登録したいサイトのページを表示し、「マイメニュー登録」を選ぶ

各サイトによってページ構成が異なります。

2 「iモードパスワード入力」のボックスを選び、4桁のiモードパスワードを入力する

入力したiモードパスワードは「*」で表示されます。




iモードパスワードについて P.30

3 「決定」を選ぶ

マイメニューへの登録が完了します。


マイメニューに登録したサイトを表示します

マイメニューに登録したサイトは、iMenuの「マイメニュー」内に一覧で表示されます。

1  [mode]  [iMenu]  「マイメニュー」の順に選ぶ



ページの取得を中止する場合

 [中止] を押す

2 表示したいサイトを選ぶ

ブックマークを利用します

よく見るサイトにすぐに接続できるようにしたいときは、ブックマークに登録します。

登録したページは、タイトルを変更したり、フォルダに分けるなどして管理することができます。

ブックマークにはお買い上げのときにすでに「アドレス確認」のページが登録されています。 P.236

ブックマークに登録します

Bookmark登録

ブックマークは100件まで登録できます。

登録できる1件あたりのURLの文字数は半角で256文字までです。URLの文字数が半角で256文字を超えるページは、ブックマークに登録できません。

サイトによってはブックマークに登録できないことがあります。

1 登録したいページを表示し、機能メニューから「Bookmark登録」を選ぶ

登録を確認するメッセージが表示されます。


2 「YES」を選び、登録するフォルダを選ぶ

登録したことを通知するメッセージが表示されます。

登録を確認する画面で登録を中止する場合

「NO」を選ぶ

フォルダ選択時に登録を中止する場合

を押す

すでに100件登録されている場合

削除してから登録するかどうかのメッセージが表示されます。

登録するときは「YES」を選び、フォルダを選んで削除するブックマークを選びます。

登録を中止するときは「NO」を選びます。

お知らせ

ブックマークのタイトルは全角で12文字、半角で24文字までが登録され、超えた部分は削除されます。


ブックマークに登録したページを表示します

登録したブックマークはBookmark一覧画面にタイトルが表示されます。

一覧からブックマークを選んで登録したページを表示できます。


1 Bookmark一覧画面を表示する

Bookmark一覧画面 P.40

タイトルがない場合や「タイトル編集」(P.56)でタイトルを入力せずに「確定」を押した場合は、「http://」または「https://」を除いたURLが表示されます。

2 表示したいブックマークを選ぶ

ページの取得を中止する場合

「中止」を押す

お知らせ

Bookmark一覧から表示したページのタイトルは、次回Bookmark一覧画面を表示したとき1ページ目の一番目に表示されます。

ブックマークはフォルダに分けて管理することができます。

新しいフォルダは9個まで追加することができます。

お買い上げのときにすでにある「Bookmark」フォルダは、削除やフォルダ名の変更はできません。

1 Bookmarkフォルダ一覧画面を表示する

Bookmarkフォルダ一覧画面 P.40

2 操作したいフォルダを反転表示して機能メニューを表示し、項目を選ぶ

フォルダを追加する場合

「フォルダ追加」を選び、フォルダ名を入力する

フォルダ名は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。

フォルダ名を変更する場合

「フォルダ名編集」を選んでフォルダ名を変更する

フォルダ名は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。

フォルダを削除する場合

「フォルダ削除」を選ぶ

端末暗証番号(P.21)の入力が必要です。

ブックマークのみをすべて削除する場合

「Bookmark全削除」を選ぶ

フォルダは残したまますべてのブックマークを削除します。端末暗証番号(P.21)の入力が必要です。

おしらせ

ブックマークのフォルダにはセキュリティをかけることはできません。

ブックマークを管理します

ブックマークは機能メニューからさまざまな操作をすることができます。


1 Bookmark一覧画面を表示する

Bookmark一覧画面 P.40

2 操作したいタイトルを反転表示して機能メニューを表示し、項目を選ぶ

別のフォルダへ移動する場合

「フォルダ移動」を選ぶ

移動先のフォルダを選び、移動するブックマークを選んで  完了 を押します。

タイトルを変更する場合

「タイトル編集」を選び、新しいタイトルを入力する

タイトルは全角で12文字、半角で24文字まで入力できます。


ブックマークを削除する場合

削除方法を選ぶ

- ・「1件削除」：ブックマークを1件削除します。
- ・「選択削除」：ブックマークをチェックボックスで選んで削除します。
- ・「全削除」：フォルダ内のすべてのブックマークを削除します。端末暗証番号(P.21)の入力が必要です。

ブックマークのURLをコピーする場合

「URLコピー」を選ぶ

始点を指定した後  で範囲を選び、終点を指定します。

お知らせ

「Bookmark」フォルダの中の「アドレス確認」も別のフォルダに移動したり、タイトルを変更したり、削除することができます。

ほかの電話機から電話帳データなどをコピーすると、ブックマークに登録されている「アドレス確認」は削除されます。

ブックマークの登録件数を確認するときは

すべてのフォルダの登録件数を確認する場合

Bookmarkフォルダ一覧画面を表示

フォルダごとの登録件数を確認する場合

確認したいフォルダのBookmark一覧画面を表示

機能メニューから
「登録件数確認」
を選ぶ

表示しているページを保存します

乗り換え案内など情報の検索結果やメロディ・iモーションの取得完了画面など、一度表示したページを画面メモとしてFOMA端末に保存しておくことができます。ページを表示したときの画面をそのまま保存するので、あとで情報を確認したい場合などに便利です。

画面メモは最大100件まで保存できます。保存可能件数は、保存するページのデータ量により3~100件と変動します。

スケジュール参照登録を実行して、画面メモを見ながらスケジュールを登録できます。

『基本編』のP.335

別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを抜いたままFOMA端末の電源を入れた場合は、メロディ、画像、iモーション、キャラ電、ダウンロード辞書が含まれている画面メモを表示できなくなります。元のFOMAカードを挿入し直すと、それらの画面メモを表示できるようになります。 P.19

ページを画面メモとして保存します

1 保存したいページを表示し、機能メニューから「画面メモ」を選ぶ
保存を確認するメッセージが表示されます。

2 「YES」を選ぶ
保存したことを通知するメッセージが表示されます。
保存を中止する場合
「NO」を選ぶ
保存されている画面メモがいっぱいの場合
削除してから保存するかどうかのメッセージが表示されます。
保存するときは「YES」を選び、削除する画面メモを選びます。
保存を中止するときは「NO」を選びます。

おしらせ

サイトなどで入力した文字や設定は画面メモには保存されません。

SSL対応のページの画面を保存すると、そのページのSSL証明書も保存されます。 P.47

画面メモのタイトルは全角で11文字、半角で22文字までが保存され、超えた部分は削除されます。

画面メモには、文字情報だけでなく画像やFlash画像などのデータや、iモーションやメロディ、キャラ電などのデータ取得画面なども保存できます。ただし、再生制限が設定されているiモーション、ストリーミングタイプのiモーション、データが不完全なiモーションの取得完了画面は保存することができません。

画面メモに保存した画像などをFOMA端末に保存できます。 P.113


同じページを保存したときは、上書きされずに別の画面メモとして保存されます。

保存した画面メモを表示します


保存した画面メモは画面メモ一覧画面にタイトルが表示されます。

1 画面メモ一覧画面を表示する

画面メモ一覧画面 P.41

タイトルがない場合や「タイトル編集」(P.59)でタイトルを入力せずに  [確定] を押した場合は、「無題」と表示されます。

2 表示したいタイトルを選ぶ

画面メモ詳細画面が表示されます。画面メモを表示しているときに  を押すと、前の画面メモや次の画面メモを表示することができます。


保存したページのURLを確認する場合

機能メニューを表示し、「URL表示」を選ぶ

データ取得完了画面などでは「URL表示」を選ぶことはできません。

おしらせ

画面メモに保存したページを表示しても、iモードには接続しません。保存したときの情報のため、最新の情報とは異なる場合があります。

SSL対応ページの画面メモを表示したときは、画面に「」が表示されます。 P.47

大切な画面メモを保護したり、タイトルを変更したりすることができます。

保護できる画面メモは最大50件までです。保護できる最大件数は画面メモのデータ量により変動します。

< 例：画面メモ一覧画面から操作します >

1 画面メモ一覧画面を表示する

画面メモ一覧画面 P.41

2 操作したいタイトルを反転表示して機能メニューを表示し、項目を選ぶ

保護 / 保護解除する場合

「保護 / 保護解除」を選ぶ

保護されていない画面メモは保護され、保護されている画面メモは保護解除されます。保護されると、画面メモのタイトルの左に「🔒」が表示されます。

タイトルを変更する場合

「タイトル編集」を選び、新しいタイトルを入力する

タイトルは全角で11文字、半角で22文字まで入力できます。

画面メモを削除する場合

削除方法を選ぶ

1件削除 : 画面メモを1件削除します。

選択削除 : 画面メモをチェックボックスで選んで削除します。

全削除 : すべての画面メモを削除します。端末暗証番号(P.21)の入力が必要です。

保存件数を確認する場合

「保存件数確認」を選ぶ

画面メモ詳細画面から操作する場合

「保護 / 保護解除」、「タイトル編集」、「削除」は、画面メモ詳細画面(P.41)の機能メニューから操作することもできます。

- ・ 操作したい画面メモを表示して機能メニューを表示し、項目を選びます。
- ・ 「削除」を選ぶと、表示中の画面メモを削除します。

ホームURL

よく見るサイトを簡単に表示できます

よく見るサイトのページを、ホームURLに1件登録できます。登録したページを簡単な操作で表示できる「ホーム表示」を利用することができます。

「ホーム表示」を利用するには、ホームURLを登録し、「ホームURL設定」を「有効」に設定します。

ホームURLに登録できるURLの文字数は、半角で256文字までです。

ホームURLを登録します

- 1 登録したいページを表示し、機能メニューから「ホーム登録」を選ぶ
登録を確認するメッセージが表示されます。
すでにホームURLが登録されている場合
上書きするかどうかのメッセージが表示されます。

- 2 「YES」を選ぶ
登録したことを通知するメッセージが表示されます。
登録を中止する場合
「NO」を選ぶ

ブックマークから登録する場合

Bookmark一覧画面 (P.40)で登録したいブックマークを反転表示する


URL履歴から登録する場合

URL入力画面 (P.62)で登録したいURL履歴を反転表示する

機能メニューから
「ホーム登録」を
選ぶ

ホームURLを設定します

ホーム表示を利用するための設定をします。


- 1  iモード設定 ▶ 「ホームURL設定」の順に選ぶ
ホームURL欄に、ホームURLに登録されているURLが表示されます。
ホームURLを登録していない場合
ホームURL欄を選んで、登録したいURLを入力する
 - ・ URLは半角で256文字まで入力できます。
 - ・ 登録していないときは、ホームURL欄に「http://」のみが表示されています。

2 「有効」を選ぶ

ホーム表示を利用しない場合
「無効」を選ぶ

ホームURLに登録したページを表示します ホーム表示

1 待受画面表示中に ホーム を押す

ページの取得を中止する場合
 中止 を押す

ページを表示中にホームURLのページを表示するとき
サイトのページで機能メニューから「ホーム表示」を選びます。

Internet画面(P.62)からホームURLのページを表示するとき
Internet画面で「ホーム表示」を選びます。

おしらせ

「ホームURL設定」が「無効」に設定されているときは、ホーム表示は利用できません。


ラストURL

最後に見たページを表示します

サイトやインターネットで最後に見ていたページを表示したいときは、ラストURLが役に立ちます。ラストURLには、最後に表示していたページのURLが記憶されています。

データ取得完了画面など、ページによってはラストURLに記憶されない場合があります。

1 iモードメニューから「ラストURL」を選ぶ

iモードメニュー P.25
ページの取得を中止する場合
 中止 を押す

おしらせ

お買い上げのときや「ラストURL初期化」(P.124)を行った後は、「ラストURL」を選ぶとiMenu画面が表示されます。

ページを表示するたびにラストURLには表示中のページのURLが上書きされます。

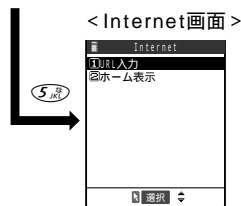
インターネット接続サービス機能一覧

インターネット接続サービス機能の画面および機能メニューから可能な操作の一覧を示します。

< 待受画面 >



< iモードメニュー >



Internet画面

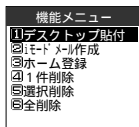
①URL入力.....URLを新たに入力するか、またはこれまでに入力したURL履歴から選んで、インターネットに接続します。 P.63
 ②ホーム表示.....ホームURLに登録されているページを表示します。 P.61



< URL入力画面 >



[機能]



機能メニュー

①デスクトップ貼付.....URL履歴のURLをデスクトップアイコンとして貼り付けます。『基本編』のP.170
 ②iモードメール作成.....URL履歴のURLを本文に貼り付けたiモードメールを作成します。 P.168
 ③ホーム登録.....URL履歴のURLをホームURLに登録します。 P.60
 ④1件削除.....URL履歴を1件削除します。 P.64
 ⑤選択削除.....URL履歴を選んで削除します。 P.64
 ⑥全削除.....URL履歴をすべて削除します。 P.64

インターネットホームページに接続します

任意のURLを入力してインターネットホームページを表示できます。

URLは、半角の英数字や記号で256文字まで入力できます。

iモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。

URLを入力してページを表示します

1 Internet画面を表示し、「URL入力」を選ぶ

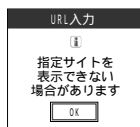
Internet画面 P.62

2 「新規入力」を選び、URLを入力する

あらかじめ「http://」が入力されています。

文字の入力のしかた 『基本編』のP.298

3 「OK」を選ぶ



「指定サイトを表示できない場合があります」というメッセージが表示されます。

● 選択 または **OK** を押すと、入力したURLのページに接続します。

操作を中止する場合

「Cancel」を選ぶ

ページの取得中に中止する場合

中止 を押す

「http://」や「https://」以外ではじまるURLを入力したり、何も入力されていない場合は、URLが間違っていることを通知するメッセージが表示されます。

ページを表示中にURLを入力する場合

サイトやインターネットホームページを表示中に、機能メニューから「URL入力」を選んでURLを入力し、別のページを表示することができます。

Internetアドレスの入力欄には、現在表示されているページのURLが表示されます。入力欄を選んで表示したいページのURLを入力してください。

おしらせ

表示したページのURLを「ブックマーク (P.53) や「ホームURL (P.60) に登録したり、表示したページを「画面メモ」として保存する (P.57) など、機能メニューからさまざまな操作をすることができます。

URL履歴を使ってページを表示します

これまでに入力したURLをURL履歴として10件まで記録し、一覧で表示します。一覧から選んでページを表示することができます。

1 Internet画面を表示し、「URL入力」を選ぶ

Internet画面 P.62

2 表示したいURLを選ぶ

選んだURLを編集したい場合

Internetアドレスの入力欄を選んで、URLを編集する

3 「OK」を選ぶ

「指定サイトを表示できない場合があります」というメッセージが表示されます。

選択 または CLR を押すと、選んだURLのページに接続します。

操作を中止する場合

「Cancel」を選ぶ

ページの取得中に中止する場合

中止 を押す

おしらせ

履歴が10件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。

URLを入力して接続したときは、同じURLでも別の履歴として記録されます。

URL履歴を削除します

1 削除したいURL履歴を反転表示し、機能メニューから削除方法を選ぶ

URL入力画面 P.62

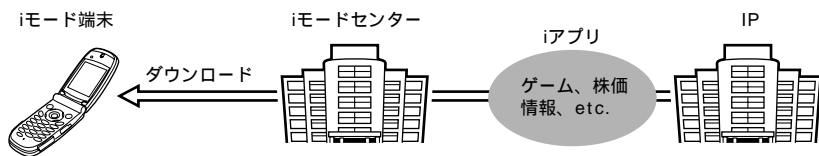
1件削除 : URL履歴を1件削除します。

選択削除 : URL履歴をチェックボックスで選んで削除します。

全削除 : すべてのURL履歴を削除します。端末暗証番号(P.21)の入力が必要です。

iアプリとは

iアプリをサイトからダウンロードする(取り込む)ことにより、iモード対応FOMA端末(以下、iモード端末)を便利に活用いただけます。たとえばiモード端末にいろいろなゲームを取り込んで楽しんだり、株価情報のiアプリを取り込むことにより、株価を定期的に自動チェックできます。さらに、地図のiアプリでは必要なデータだけを取り込むため、スムーズなスクロールが可能です。また、iアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などマルチメディアと連動できるiアプリもあります。



iアプリをダウンロードするには P.68

iアプリを実行するには P.72

iアプリを自動起動するには P.78

お知らせ

ソフトによってはiモード端末の携帯電話情報(FOMA端末の機種や製造番号、FOMAカードの識別番号など)を利用する場合があります。

ソフトによっては実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。

登録データを利用する

iアプリのソフトには、お客様のiモード端末の登録データ(電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報)を参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- ・ 電話帳登録
- ・ アイコン情報利用
- ・ ブックマーク登録
- ・ スケジュール登録
- ・ マルチメディアからの画像取得
- ・ マルチメディアへの画像保存

iアプリDXとは

iアプリDXでは、iモード端末の情報(メールや発着信履歴、電話帳のデータなど)と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信が知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、iアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。 P.74

登録データを利用する

iアプリDXのソフトでは、通常のiアプリで利用できる登録データ(電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報)に加えて、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- ・電話帳登録
- ・電話帳参照
- ・アイコン情報利用
- ・ブックマーク登録
- ・スケジュール登録
- ・メールメニューの利用
- ・iモードメール作成画面利用
- ・最新の発信履歴参照
- ・最新の着信履歴参照
- ・最新の未読メール参照
- ・メロディ保存
- ・着信音変更(電話、メール、メッセージ)
- ・マルチメディアからの画像取得
- ・マルチメディアへの画像保存
- ・画面設定の変更(待受画面、電話発信、メール送受信、メッセージリクエスト/フリー受信)

おしらせ

iアプリDXでは、ソフトの有効性を確認するため、ソフトの通信設定にかかわらず自動的に通信する場合があります。通信回数やタイミングはソフトによって異なります。

iアプリDXを起動するには日付・時刻の設定が必要です。『基本編』のP.65

メール連動型iアプリとは

メール連動型iアプリはiアプリDXの一種で、iモードメールで情報をやり取りすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ソフトをより便利に楽しく利用することができます。

- ・メール連動型iアプリで利用されるiアプリメールは、正しく表示できない場合があります。

こんなこともできます

iアプリ待受画面

iアプリ待受画面ではiアプリを待受画面として利用ことができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の詳細情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。 P.85、『基本編』のP.177

iアプリ待受画面に対応したソフトで利用できる機能です。

iアプリの自動起動

時刻や日付、曜日などを指定して、ソフトを自動起動できます。あらかじめソフトに設定されている時間間隔で自動起動できるソフトもあります。 P.78

カメラ撮影

ソフトからiモード端末のカメラを使って撮影できます。 P.246

カメラ撮影機能に対応したソフトで利用できる機能です。

赤外線通信

ソフトから赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動してより幅広い使いかたができます。 P.340

- ・赤外線通信機能に対応したソフトで利用できる機能です。
- ・相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

赤外線リモコン

ソフトから赤外線リモコンに対応した家電機器など各種機器を操作できます。 P.349
赤外線リモコン機能に対応したソフトで利用できる機能です。相手の機器に対応したソフトが必要です。

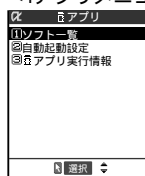
ソフト機能一覧

iアプリに関する画面および機能メニューから可能な操作の一覧を示します。

< 待受画面 >

↓
[Home] を押して [iアプリ] を選ぶ

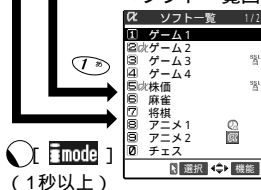
< iアプリメニュー >



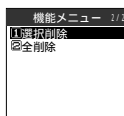
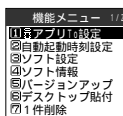
iアプリメニュー

- ①ソフト一覧.....ソフトの一覧を表示します。 P.72
- ②自動起動設定.....指定した時にiアプリを自動的に起動するかどうかを設定します。 P.78
- ③iアプリ実行情報.....iアプリ待受画面の強制終了や自動起動の日時など、iアプリの実行情報を確認します。

< ソフト一覧画面 >



[機能]



機能メニュー 1/2

- ①iアプリTo設定.....サイトやメールからiアプリを起動するかどうかを設定します。 P.77
- ②自動起動時刻設定.....iアプリが自動的に起動する日時を設定します。 P.79
- ③ソフト設定.....ソフトの各種設定を行います。 P.81
- ④ソフト情報.....ソフトに関する情報を表示します。 P.70
- ⑤バージョンアップ.....ソフトを最新のバージョンに更新します。 P.88
- ⑥デスクトップ貼付.....ソフトを起動するアイコンをデスクトップアイコンとして貼り付けます。『基本編』のP.170
- ⑦1件削除.....ソフトを1件削除します。 P.89

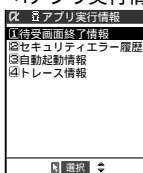
機能メニュー 2/2

- ①選択削除.....ソフトを選んで削除します。 P.89
- ②全削除.....ソフトをすべて削除します。 P.89

< iアプリメニュー >

↓
[soft]

< iアプリ実行情報 >



iアプリ実行情報

- ①待受画面終了情報.....iアプリ待受画面が解除されてしまうエラーの内容を確認します。 P.88
- ②セキュリティエラー履歴.....iアプリのセキュリティエラーの履歴を確認します。 P.90
- ③自動起動情報.....iアプリが自動起動したかどうかを確認します。 P.80
- ④トレース情報.....iアプリのトレース情報を確認します。 P.91

ソフトをダウンロードします

サイトからソフトをダウンロードして、FOMA端末で実行できます。

ダウンロードしたソフトは最大200件まで(メール連動型iアプリは5件まで)保存できます。保存可能件数はソフトのデータ量により10~200件と変動します。

メール連動型iアプリをダウンロードした場合、送信フォルダおよび受信フォルダ一覧にiアプリメール用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型iアプリ名がつき、変更できません。

メール連動型iアプリ専用のフォルダが5件ある場合、または同じ受信フォルダ、送信フォルダを利用するメール連動型iアプリがすでに保存されている場合は、メール連動型iアプリをダウンロードできません。

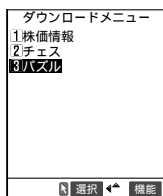
メールセキュリティの設定中は、メール連動型iアプリをダウンロードできません。

メール連動型iアプリを利用して送受信したメールは、メール連動型iアプリをダウンロードするときに作成されるフォルダに自動的に振り分けられます。また、受信したメールを手動で振り分けることもできます。

フォルダを残して削除したメール連動型iアプリをもう一度ダウンロードした場合は、残していたフォルダを利用することができます。また、残していたフォルダを削除して新規のフォルダを作成することもできます。残していたフォルダを利用せずに、新規のフォルダも作成していない場合は、メール連動型iアプリがダウンロードできません。


保存件数やメモリに空きがある場合

1 サイトの画面などからソフトを選んでダウンロードする

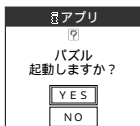



ダウンロードが完了すると、「完了しました」というメッセージが表示されます。ただし、サイトからすぐに起動するソフト(P.70)の場合、メッセージは表示されずにソフトが起動します。

データの受信中にダウンロードを中止する場合

 選択 を押す

2 「YES」を選んでソフトを起動する




ソフトを起動すると画面下に「」が表示されます。

ソフトを起動しない場合

「NO」を選ぶ

ソフトの起動を中止する場合


ソフトの起動中に  選択 を押す

おしらせ


ダウンロード中に電波の状況などにより失敗した場合には、ダウンロードしたソフトは登録されません。

ダウンロード中はタスクの切り替えができません。

iアプリDXや登録データまたは携帯電話情報を利用するiアプリをダウンロードする場合は、登録データや携帯電話情報を利用することを通知するメッセージが表示されます。

SSL対応のサイトからソフトの情報やソフトをダウンロードする場合は、「」が表示されます。

P.47

通信して利用するソフトや待受画面に設定できるソフトをダウンロードした場合は、ソフト設定画面が表示されます。ダウンロードしたソフトに応じて設定したあと、「」を押してください。

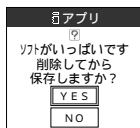
ソフトの起動中に通信を許可するかどうかのメッセージが表示される場合があります。

メール連動型iアプリ名とiアプリメール用フォルダ名は異なることがあります。

保存されているソフトがいっぱいの場合

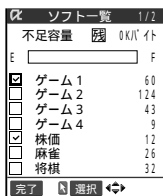
すでにソフトが200件保存されている場合やメモリの空きが不足している場合は、ソフトがいっぱいであることを通知するメッセージが表示されます。すでに保存されているソフトを削除して新しいソフトをダウンロードする容量を確保してください。

1 「YES」を選ぶ



ソフトを削除しない場合
「NO」を選ぶ

2 削除するソフトを選ぶ



メモリの空きが不足している場合

ソフトを選ぶたびに「不足バイト数」とバーの目盛りが減ります。「不足バイト数」とバーの目盛りが0になるまで削除するソフトを選んでください。

3 [完了]を押して「YES」を選ぶ

ダウンロードが再開されます。

お知らせ

ダウンロードを行う際に、電波の状況などにより失敗した場合には、ダウンロードしたソフトは登録されず、削除しようとしたソフトも削除されません。

iアプリ待受画面に設定されているソフト(「 」のついているソフト)や自動起動するように設定されているソフトを削除しようとする、設定中のソフトを削除して保存するかどうかのメッセージが表示されます。

iアプリ待受画面に設定されているソフトを削除すると、「画面表示設定(『基本編』のP.177)の「待受画面」で設定されている待受画面になります。

メール運動型iアプリを削除する場合は、対応するメール運動型iアプリ専用フォルダを削除するかどうかのメッセージが表示されます。メール運動型iアプリのみを削除する場合は「NO」を選びます。メール運動型iアプリと対応するメール運動型iアプリ専用の送信/受信フォルダおよびフォルダ内のすべてのメールを削除する場合は「YES」を選びます。ただし、メール運動型iアプリ専用の送信/受信フォルダが使用中の場合、フォルダにセキュリティが設定されている場合、保護メールがある場合は削除できません。

フォルダを残してメール運動型iアプリを削除した場合は、機能メニューからフォルダ内のメール本文を確認できます。

メール運動型iアプリを削除すると、削除するソフトを選んでる間に受信した新着メールが削除されることがあります。

すぐに起動するソフトについて

通常のiアプリのソフトとは異なり、ダウンロードを開始するとすぐに起動するiアプリのソフトがあります。ダウンロードが完了しても「完了しました」の画面が表示されず、すぐにソフトが起動します。

- ・ソフトの実行中に、通信するかどうかのメッセージが表示される場合があります。
- ・FOMA端末に保存できるソフトとできないソフトがあります。すぐに起動するソフトはダウンロードが完了して起動しても、FOMA端末にはまだ保存できていません。

FOMA端末に保存できるソフトの場合

ソフトを終了した後、保存するかどうかのメッセージが表示されます。FOMA端末に保存するときは「YES」を選びます。保存しないときは「NO」を選びます。

FOMA端末に保存できないソフトの場合

ソフトを終了するとサイト画面に戻ります。もう一度ソフトを起動する場合は、ダウンロードからやり直します。

- ・保存したソフトは通常のiアプリのソフトと同様に実行することができます。

● ダウンロード時にソフトの情報を確認します <ソフト情報表示設定> ●

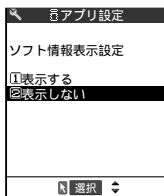
お買い上げ時 表示しない

ソフトをダウンロードするときにソフトの情報を確認できるように設定できます。ソフトの情報を確認したあと、ダウンロードを継続するか中止するかを選べるので便利です。

1



「iアプリ設定」▶「ソフト情報表示設定」の順に選ぶ



ソフト情報を表示する場合

「表示する」を選ぶ

ダウンロード時にソフト情報画面が表示されます。ソフト情報を確認したら [確定] を押し、ダウンロードするかどうかを選んでください。

ソフト情報を表示しない場合

「表示しない」を選ぶ

● ソフトの情報を確認します <ソフト情報> ●

<ソフト情報>

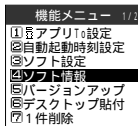
FOMA端末に保存されているソフトの情報を見ることができます。

1

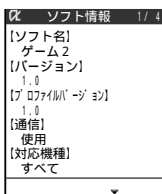


「ソフト一覧」の順に選ぶ

2 情報を確認するソフトを反転表示して機能メニューから「ソフト情報」を選ぶ



3 ソフト情報を確認する



⌂ または ⌂ を押すとページが切り替わります。
⌂ を押すとソフト一覧画面に戻ります。

おしらせ

SSL対応のページからダウンロードしたソフトの場合は、「SSL通信」の欄に「使用」と表示されます。

本機能で表示されるソフトのソフト名は変更できません。

ソフトの一覧画面のアイコン表示について

ソフト一覧画面では次のようなアイコンでソフトの種類や設定を確認できます。



: iアプリDXであることを示しています。 P.28、P.65



: メール連動型iアプリであることを示しています。



: 「iアプリTo設定 (P.77) や「iアプリ待受画面設定 (P.85、『基本編』のP.179)、「自動起動時刻設定 (P.79) を設定できるソフトであることを示します。ただし、「自動起動時刻設定」が設定できるソフトでも、「自動起動設定 (P.78) が「許可しない」に設定されている場合は「🕒」は表示されません。



: 「自動起動時刻設定」が設定されていることを示しています。 P.79



: 「iアプリ待受画面設定」に設定されていることを示しています。



: 「自動起動時刻設定」が設定され、「iアプリ待受画面設定」に設定されていることを示しています。



: SSL対応のページからダウンロードしたソフトであることを示しています。

ソフトを起動します

ソフト一覧画面からソフトを選んで起動します。

ソフトによって操作するボタンは変わります。



ソフトの実行中に再生されるメロディは、「着信音量」の「電話 / TV電話」で設定した音量で鳴ります。『基本編』のP.79

ソフトの配色は「配色パターン」を変更しても変わりません。『基本編』のP.182

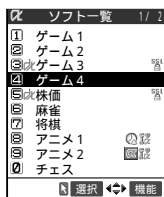
iアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像は「イメージビューア (P.294)」には保存されず、iアプリの一部として保存されます。



iアプリからバーコードリーダーを起動した場合、読み取ったデータはソフトで利用される場合があります。「バーコードリーダー (P.281)」には保存されません。

iアプリからカメラを起動した場合は、画像サイズの変更はできません。画像サイズが240×240の場合、「 i-appli 」が表示されます。


1   「ソフト一覧」の順に選ぶ

2 起動するソフトを選ぶ





ソフトを起動すると画面下に「」が表示されます。iアプリDXを起動したときは「」が表示されます。

ソフトの起動を中止する場合

ソフトの起動中に  [選択] を押す

ソフトを終了するには

1  を1秒以上押して「YES」を選ぶ

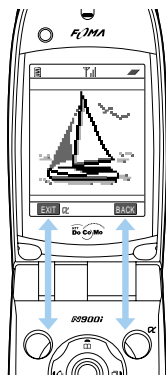
 を押して「YES」を選んでソフトを終了できます。

ソフトを終了しない場合

「NO」を選ぶ

ソフトキーの使いかた


ソフトによっては、ディスプレイの最下段に「EXIT」「BACK」など、設定や操作に関するガイダンスが表示されます。これをソフトキーといいます。ソフトキーを実行するには、対応するファンクションボタンを押してください。



おしらせ

「自動起動設定」を「許可する」に設定し、「自動起動時刻設定」を設定すると、ソフトを自動で起動できます。 P.78

ソフトによってはダウンロードした後も自動的に通信するものがありますが、このサービスを利用するにはあらかじめFOMA端末での設定が必要です。

ソフトの実行中にiモードメールを受信した場合は、「」が表示されます。受信したメールを表示するには、ソフトを終了するか、またはマルチタスク機能をご利用ください。

ソフトの起動中に通信を許可するかどうかのメッセージが表示される場合があります。 P.81

ソフト実行中(自動起動時も含む)に自動的に通信を行うには、あらかじめ「通信設定」(P.81)を「通信する」に設定しておく必要があります。また、iアプリ待受画面に設定したソフトから自動的に通信を行うようにするには、あらかじめ「iアプリ待受画面通信設定」(P.86)を「通信する」に設定しておく必要があります。

ソフトの実行中にiモーション(映像や音のデータ)が再生される場合があります。 P.95

3Dポリゴン エンジン搭載により、iアプリで立体画像を表示できます。

：多角形(三角形や四角形など)を組み合わせることで、立体的で奥行きがある画像を表現します。

ソフトの実行中は電池パックを外さないでください。それまでのデータや情報が保存されません。iアプリで利用する画像 やお客様が入力したデータなどは、自動的にインターネットを経由し、サーバに送信される可能性があります。

：iアプリで利用する画像とは、カメラ連携(連動)のiアプリからカメラを起動して撮影した画像、iアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像、iアプリがサイトやインターネット経由で取得した画像、iアプリがマルチメディアから取得した画像を指します。

あらかじめ登録されているソフトを利用します

本FOMA端末には「Dimo 絵文字メール」「ドラゴンクエスト1」「ミニゲームアイランド」「TVリモコン」のソフトがあらかじめ登録されています。

長時間ディスプレイを見ていると、目が疲れる場合がありますのでご注意ください。

「Dimo 絵文字メール」と「ミニゲームアイランド」は、iアプリ待受画面、通常のiアプリのどちらでも起動できます。起動する方法によって操作できるメニューや内容が一部異なります。

「TVリモコン」については「赤外線リモコン機能を利用します」(P.349)を参照してください。

FOMA端末にあらかじめ登録されているiアプリのソフトを削除した場合、元に戻したいときは「ケータイ電話メーカー」サイト内の「みんなNらんど」からダウンロードしてください。

「みんなNらんど」への接続のしかたは以下のとおりです。

待受画面表示中に [mode] - (iMenu) - (メニューリスト) - 「ケータイ電話メーカー」 - 「みんなNらんど」を選ぶ

Dimo 絵文字メールを楽しみます

メール内の絵文字に反応して、キャラクタ達が愉快に動き回り、楽しいメールのやりとりができます。

また、相手がDimo対応の機種の場合は、キャラクタ達が電話やメールの着信を教えてくれたり、FOMAの未読メール情報などを伝えてくれます。

- 1 「Dimo 絵文字メール」を起動し、(ON)を押して自分のデータを設定する



ソフトを起動する P.72

©B-VIG

2 メニューから項目を選ぶ



- メール : メールを利用します
- グループチャット : グループチャットを利用します。
- ペアチャット : ペアチャットを利用します。
- メンバー登録 : 自分のデータや送信先のメンバーを設定します。
- 背景の設定 : 画面の背景を設定します。
- Dimoとお話 : キャラクタ達の部屋を表示します。

詳しい使い方と最新の情報を表示する場合

- (HELP)を押して見たいメニューにカーソルを合わせてから (ON)を押す
- (HELP)を押して (ON)接続を押すと、サイトに接続して最新の情報を見ることができます。

「Dimo 絵文字メール」はメール連動型iアプリ(P.66)でiアプリDX(P.65)の一種です。
ほかのメール連動型iアプリで利用されるiアプリメールは正しく表示できない場合があります。
「Dimo 絵文字メール」を楽しむ場合は、あらかじめ「時計設定」(『基本編』のP.65)で日付・時刻を設定しておいてください。
詳しい使い方は、『別冊iモード操作ガイド』をご覧ください。

ドラゴンクエスト1を楽しみます

大人気ロールプレイングゲームのシリーズ第1作目、「ドラゴンクエスト1」です。
あなた自身が勇者となって剣と魔法の世界を冒険できます。

1 「ドラゴンクエスト1」を起動し、**○**を押す



ソフトを起動する P.72

2 「ぼうけんのしょをつくる」を選ぶ

3 使用する「ぼうけんのしょ」を選び、「なまえ」「ひょうじそくど」「おとのおおきさ」を設定する

ゲームがはじまります。

詳しい操作方法を表示する場合

ゲーム画面から**○**「オプション」を押し、「たびのこころえ」を選ぶ

ミニゲームアイランドを楽しみます

マップ上を動き回るキャラクタを捕まえて、いろいろなミニゲームを楽しむことができます。

1 「ミニゲームアイランド」を起動し、**○**を押す



ソフトを起動する P.72

ゲームがはじまります。

詳しい操作方法を表示する場合

それぞれのゲーム画面から**○**「メニュー」を押し、「ヘルプ表示」を選ぶ

サイトやメールなどからソフトを起動します

サイトやメールなど、iアプリ以外の機能からiアプリを起動できます。iアプリを起動できる機能は次のとおりです。

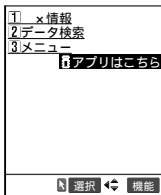
機能	内容
サイト表示中	選んだ項目にiアプリの起動が指定されている場合は、iアプリが起動します。
iモードメール表示中	iモードメールの本文からiアプリの起動が指定されている項目を選ぶと、iアプリが起動します。
赤外線通信機能	赤外線通信中にiアプリの起動信号を受信すると、iアプリが起動します。
バーコードリーダー機能	認識したバーコードがiアプリの起動を指定している場合は、iアプリが起動します。

「iアプリTo設定」で各機能から起動するかどうかを設定できます。 P.77

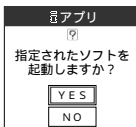
サイトまたはメールからiアプリを起動します

<例：サイトからiアプリを起動する>

1 ソフトにリンクしている項目を選ぶ



2 「YES」を選ぶ



iアプリが起動します。

ソフトを起動しない場合

「NO」を選ぶ

おしらせ

該当するソフトがない場合は、指定されたソフトがないことを通知するメッセージが表示されません。サイトからiアプリを起動するときに該当するiアプリがない場合は、メッセージが表示されません。

赤外線通信機能でiアプリを起動します

1 「赤外線通信」の順に選ぶ

赤外線通信を利用する P.340

2 「1件受信」を選ぶ

通信が終了したことを通知するメッセージが表示された後、iアプリが起動します。

お知らせ

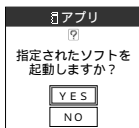
該当するソフトがない場合は、指定されたソフトがないことを通知するメッセージが表示されません。

バーコードリーダー機能でiアプリを起動します

1 iアプリを起動する情報を含んだバーコードを読み取る

バーコードの読み取りについて P.281

2 バーコードリーダーの詳細画面で「iアプリ起動」を選んで「YES」を選ぶ



iアプリが起動します。

ソフトを起動しない場合
「NO」を選ぶ

お知らせ

該当するソフトがない場合は、指定されたソフトがないことを通知するメッセージが表示されません。

ソフトの起動について設定します

<iアプリTo設定>

お買い上げ時 すべて起動する

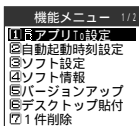
サイト、メール、赤外線通信、バーコードからソフトを起動するように設定します。

ソフトごとにそれぞれ設定できます。

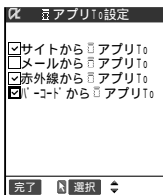
設定できない項目は選べません。

1 「ソフト一覧」の順に選ぶ

2 設定するソフトを反転表示して機能メニューから「iアプリTo設定」を選ぶ



3 設定する項目を選ぶ



項目を選ぶたびに 起動する と 起動しない が切り替わります。

4 [完了]を押す

自動起動設定

iアプリを自動起動します

お買い上げ時 許可しない

ソフトが自動起動するように設定できます。

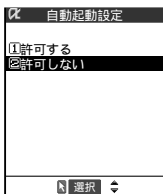
自動起動を許可した場合は、自動起動させたいソフトの起動日時を設定してください。

P.79

「時計設定」(『基本編』のP.65)で日付・時刻を設定していない場合は、自動起動時刻を設定できません。

ソフトによっては自動起動設定を行わなくても自動起動するものがあります。

1 「自動起動設定」の順に選ぶ



ソフトを自動起動する場合

「許可する」を選ぶ

ソフトを自動起動しない場合

「許可しない」を選ぶ

お買い上げ時 すべてOFF

ソフトが自動起動する日時を設定します。自動起動する時間間隔が設定されているソフトの場合は、ソフトに設定されている時間間隔を有効にするかしないかを設定できます。



自動起動を設定できるソフトは最大3件までです。

「自動起動設定」を「許可する」に設定していないと、自動起動時刻設定を設定できません。

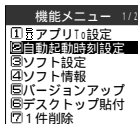
「自動起動設定」を「許可する」に設定していないと、ソフトは自動起動しません。

次のような場合、ソフトは自動起動しません。

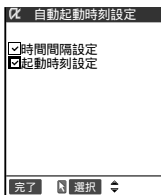
- ・ 電源を切っている場合
- ・ 通話中
- ・ めざまし時計、スケジュール、ToDoの設定時刻が自動起動の時刻と同じ場合
- ・ ほかの機能が起動している場合
- ・ iアプリメニューが起動している場合
- ・ ソフトウェア更新の予約時刻が自動起動の時刻と同じ場合

1   ▶ 「ソフト一覧」の順に選ぶ

2 設定するソフトを反転表示して機能メニューから「自動起動時刻設定」を選ぶ



3 設定する項目を選ぶ




ソフトに設定されている時間間隔を有効にする場合

「時間間隔設定」を選ぶ

起動日時を設定する場合

「起動時刻設定」を選ぶ

「起動時刻設定」を選ばずに  「完了」を押すと、ソフト一覧画面に戻ります。

4 [完了]を押して起動日時を設定する



起動日時を設定する場合

表示されている日時を選んで、起動日時を入力する
起動日時の設定のしかたは、スケジュールの登録(『基本編』のP.218)と同様の操作です。

自動起動の繰り返しを設定する場合

表示されている繰り返し設定を選んで、「毎日」または「曜日指定」の繰り返しを設定する
繰り返しの設定しかたは、スケジュールの登録(『基本編』のP.218)と同様の操作です。

5 [完了]を押す

自動起動を設定したソフトには「🕒」が表示されます。

すでに待受画面に設定されているソフトに自動起動を設定した場合は、「🕒」が表示されません。

お知らせ

すでに「自動起動」が3件設定されている場合は、すでに3件設定済みであることを通知するメッセージが表示されます。

すでにほかのソフトで同じ時刻が設定されている場合は、すでに同じ時刻に設定済みであることを通知するメッセージが表示されます。違う時刻に設定し直してください。

自動起動の時間間隔が設定されていないソフトの場合は、「時間間隔設定」を選ばません。

ソフトが自動起動したことを確認します <自動起動情報>

ソフトが設定した時刻に自動起動したかどうかを確認できます。

「自動起動時刻設定」を設定しているソフトが1件もない場合、「自動起動情報」は利用できません。

1 Menu (アプリ) ▶ 「iアプリ実行情報」▶ 「自動起動情報」の順に選ぶ



ソフト名、自動起動時刻、起動したかどうかの情報が表示されます。

自動起動した場合は「起動」、自動起動しなかった場合は「起動×」

自動起動実行前の場合は「未起動」と表示されます。

確認した後は「🏠」を押すとiアプリ実行情報画面に戻ります。

お知らせ

自動起動できなかった場合は、待受画面に「🕒 (未起動ソフトあり)」というデスクトップアイコンが表示されます。アイコンを選ぶと、自動起動情報画面が表示されます。デスクトップアイコンについては、『基本編』のP.170をご覧ください。

「自動起動時刻設定」を解除すると、自動起動情報は消去されます。

ソフト利用時の設定をします



ソフトを利用するときの条件を設定できます。

通信するようにします

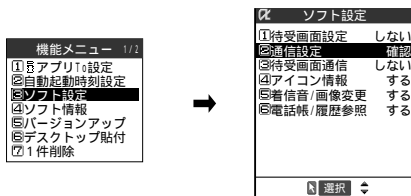
< 通信設定 >

ソフトの実行中に通信できるように設定します。

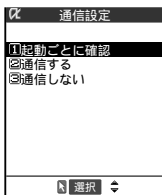
通信を利用しないソフトの場合は、本機能を設定できません。

1   「ソフト一覧」の順に選ぶ

2 設定するソフトを反転表示して機能メニューから「ソフト設定」-「通信設定」を選ぶ



3 設定する項目を選ぶ



ソフトを起動するたびに通信するかしないかを選ぶ場合

「起動ごとに確認」を選ぶ

ソフト実行中に自動で通信する場合

「通信する」を選ぶ

ソフト実行中に通信しない場合

「通信しない」を選ぶ

ソフトの起動時に通信が許可されていないことを通知するメッセージが表示されます。

お知らせ



「通信しない」に設定した場合、タイムリーな情報提供を受けられない場合がありますのでご注意ください。

「セルフモード」(『基本編』のP.207)の設定中またはデュアルネットワークでムーバを有効にしている場合は、通信を行うソフトを起動できないことがあります。

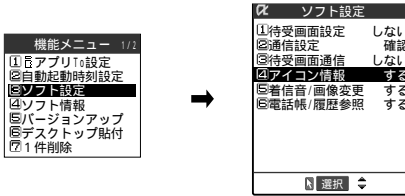
アイコン情報をソフトで利用できるようにします <アイコン情報>

未読メールやマナーモードなどのアイコン情報をiアプリで利用できるように設定します。

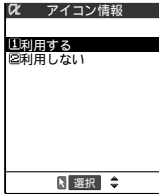
アイコン情報を利用できないソフトの場合は、本機能を設定できません。

1   「ソフト一覧」の順に選ぶ

2 設定するソフトを反転表示して機能メニューから「ソフト設定」-「アイコン情報」を選ぶ



3 設定する項目を選ぶ



アイコン情報を利用する場合

「利用する」を選ぶ

アイコン情報を利用しない場合

「利用しない」を選ぶ



おしらせ

iアプリ待受画面に設定されているソフトの本機能を「利用する」に設定すると、未読のメール・メッセージ、電池残量、マナーモード、圏内・圏外のアイコンの有無がお客様の携帯電話情報 (FOMA 端末の製造番号、FOMAカードの識別番号) と同じようにインターネットを経由してIP (情報サービス提供者) に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。

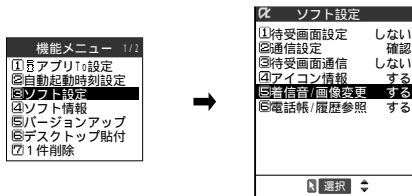
着信音や画像をソフトから変更できるようにします <着信音/画像変更>

iアプリDXを実行するときに、電話やメールの着信音および待受画面やメール送受信時などの画像を自動的に変更できるように設定します。

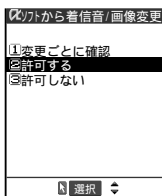
着信音や画像を変更できないソフトの場合は、本機能を設定できません。

1   「ソフト一覧」の順に選ぶ

2 設定するソフトを反転表示して機能メニューから「ソフト設定」-「着信音 / 画像変更」を選ぶ



3 設定する項目を選ぶ



ソフトが自動変更しようとするたびに変更するかどうかを確認する場合

「変更ごとに確認」を選ぶ

自動変更を許可する場合

「許可する」を選ぶ

自動変更を許可しない場合

「許可しない」を選ぶ

電話帳や履歴をソフトから参照できるようにします <電話帳 / 履歴参照>

iアプリDXを実行するときに、電話帳や最新の発信履歴、着信履歴、最新の未読メールを参照できるように設定します。

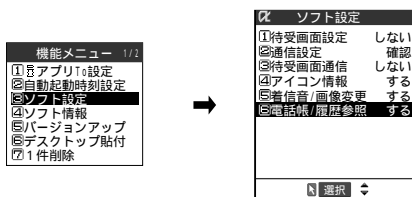
シークレットデータの電話帳は、シークレットモードまたはシークレット専用モードに設定しないと参照できません。

履歴は「履歴表示設定」(『基本編』のP.206)で「着信履歴」または「リダイヤル / 発信履歴」が「OFF」に設定されていると参照できません。

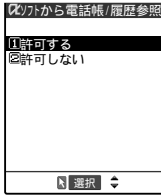
電話帳や履歴を参照できないソフトの場合は、本機能を設定できません。

1 「ソフト一覧」の順に選ぶ

2 設定するソフトを反転表示して機能メニューから「ソフト設定」-「電話帳 / 履歴参照」を選ぶ



3 設定する項目を選ぶ



参照を許可する場合

「許可する」を選ぶ

参照を許可しない場合

「許可しない」を選ぶ

● 照明やバイブレータの設定をします < 照明設定 / バイブレータ / イルミネーション・ウィンドウ >

お買い上げ時 | **すべてシステム依存**

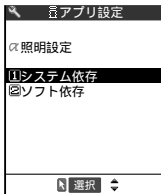
iアプリ実行中にバックライト、バイブレータ、イルミネーション・ウィンドウの動作を、FOMA端末の設定(システム依存)に従わせるかソフトの設定(ソフト依存)に従わせるかを設定します。

動作箇所	iアプリ設定項目	動作内容	
		システム依存	ソフト依存
バックライト	照明設定	「照明設定」『基本編』のP.183	iアプリの設定に依存します。
バイブレータ	バイブレータ	動作しません	
イルミネーション・ウィンドウ	イルミネーション・ウィンドウ	「イルミネーション・ウィンドウ」『基本編』のP.38	

：「バイブレータ」をシステム依存に設定した場合は、「バイブレータ」(『基本編』のP.167)の設定にかかわらず動作しません。

< 例：バックライトの動作を設定する場合 >

1 「iアプリ設定」▶「照明設定」の順に選ぶ



バックライトの動作をFOMA端末の設定に従わせる場合

「システム依存」を選ぶ


バックライトの動作をソフトの設定に従わせる場合

「ソフト依存」を選ぶ

iアプリ待受画面を利用します

iアプリのソフトを待受画面として設定できます。よく使用するソフトを待受画面に設定しておく、待受画面から直接ソフトを起動できるので便利です。

ソフトを待受画面に設定します



選んだiアプリのソフトを待受画面として設定します。iアプリ待受画面の表示中は、画面下に「」が表示されます。

iアプリ待受画面に設定できるiアプリは1件のみです。

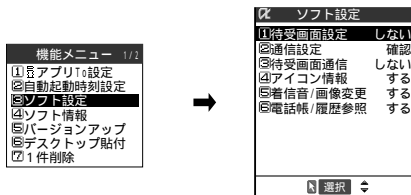
iアプリ待受画面からWeb To機能(P.113)は利用できません。

別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを抜いたままFOMA端末の電源を入れた場合は、iアプリ待受画面が設定されていても「画面表示設定」の「待受画面」で設定された画面が表示されます。元のFOMAカードを挿入し直すと、設定したiアプリ待受画面が表示されます。

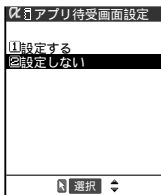
待受画面に設定できないソフトもあります。

1   「ソフト一覧」の順に選ぶ

2 設定するソフトを反転表示して機能メニューから「ソフト設定」-「待受画面設定」を選ぶ




3 設定する項目を選ぶ



ソフトを待受画面に設定する場合

「設定する」を選ぶ

待受画面に設定したソフトには「」が表示されます。

ソフトを待受画面に設定しない場合

「設定しない」を選ぶ

通信するソフトをiアプリ待受画面に設定した場合は、電波状況などにより正しく動作しない場合があります。

iアプリ待受画面が設定されている場合、「画面表示設定」(『基本編』のP.177)の「待受画面」で設定した画像は待受画面に表示されません。ただし、マルチタスクの状態では待受画面を表示した場合は、iアプリ待受画面を設定していても「画面表示設定」の「待受画面」で設定されている画像が表示されます。また、iアプリとして起動したあとに待受画面の状態に戻す機能を持つソフトであっても、待受画面から起動したあと、ほかのタスク(機能)が動作している間は待受画面の状態に戻すことはできません。ソフトによっては、待受画面の状態に戻す際、継続動作できないことを通知するメッセージが表示されてソフトが終了し、待受画面設定も解除される場合があります。

次の場合には、iアプリ待受画面が終了します。

- ・「メガピクセルフォト」モードでカメラ機能を起動したとき
- ・ソフトをバージョンアップしたとき
- ・iアプリ待受画面がメール運動型iアプリの場合、メール機能からそのメール運動型iアプリのフォルダを参照したとき

iアプリ待受画面を設定している状態で電源を入れ直した場合、iアプリ待受画面を起動するかどうかのメッセージが表示されます。



iアプリ待受画面表示中に「オールロック」(『基本編』のP.200)または「PIMロック」(『基本編』のP.204)を設定すると、iアプリ待受画面は終了し、「画面表示設定」の「待受画面」で設定した画像が表示されます。「オールロック」または「PIMロック」を解除すると、iアプリ待受画面が表示されます。

iアプリ待受画面と通常の待受画面を設定した場合、iアプリ待受画面が優先して表示されます。

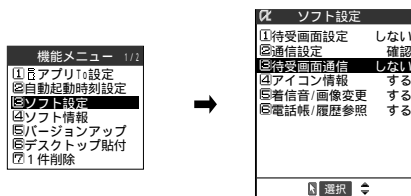
● iアプリ待受画面から通信するようにします <iアプリ待受画面通信設定>

待受画面に設定したソフトが通信するソフトである場合、通信できるように設定します。

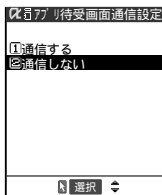
通信を利用しないソフトの場合は、本機能を設定できません。

1   「ソフト一覧」の順に選ぶ

2 設定するソフトを反転表示して機能メニューから「ソフト設定」-「待受画面通信」を選ぶ



3 設定する項目を選ぶ



ソフト実行中に自動で通信する場合

「通信する」を選ぶ

ソフト実行中に通信しない場合

「通信しない」を選ぶ



「通信しない」に設定した場合、タイムリーな情報提供を受けられない場合がありますのでご注意ください。

iアプリ待受画面を起動します

iアプリ待受画面に設定したソフトを起動して、ソフト一覧から起動したときと同じ状態にできます。

1 iアプリ待受画面表示中に を押す



iアプリが起動し、画面下の「」が「」の点滅表示に変わります。

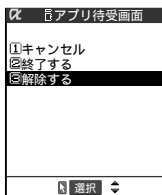
iアプリ待受画面を解除します

iアプリ待受画面の設定を解除して、待受画面を「画面表示設定」の「待受画面」で設定された画像に戻します。

iアプリ待受画面の起動中に解除します

1 iアプリ待受画面の起動中に を1秒以上押す

2 「解除する」を選ぶ



iアプリ待受画面を解除したことを通知するメッセージが表示されます。

iアプリ待受画面の解除をキャンセルする場合

「キャンセル」を選ぶ

iアプリを終了してiアプリ待受画面表示に戻る場合

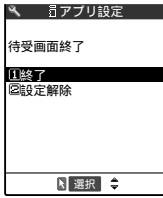
「終了する」を選ぶ

終了したことを通知するメッセージが表示され、iアプリ待受画面に戻ります。

iアプリ待受画面の表示中に解除します

1 「iアプリ設定」▶「待受画面終了」の順に選ぶ

2 「設定解除」を選ぶ



iアプリ待受画面を解除したことを通知するメッセージが表示されま
す。

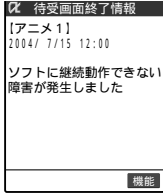
iアプリ待受画面表示に戻る場合
「終了」を選ぶ

● iアプリ待受画面の終了情報を確認します <待受画面終了情報>

iアプリ待受画面が解除されてしまうようなエラーが発生した場合、エラーが発生
したソフト名、発生時刻、発生理由が記憶され、その内容を確認できます。

終了したときにエラーが発生しなかった場合は記憶されません。

1 「iアプリ実行情報」▶「待受画面終了情報」の順に選ぶ



ソフト名、エラーの発生日時と発生理由が表示されます。

画面の右下に「機能」と表示されている場合は、機能メニューを呼び出
せます。

待受画面終了情報をコピーする場合
機能メニューから「情報コピー」を選ぶ

待受画面終了情報を削除する場合
機能メニューから「情報削除」を選ぶ

iアプリを管理します

iアプリをバージョンアップしたり、不要なiアプリを削除できます。

ソフトをバージョンアップします

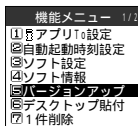
ダウンロードしたソフトがサイトでより新しいソフトに更新されている場合は、
ソフトをバージョンアップできます。

次のような場合、メールフォルダ名を変更するメール連動型iアプリをバージョンアップで
きません。

- ・メールセキュリティの設定中
- ・フォルダセキュリティの設定中
- ・バージョンアップするメール連動型iアプリ専用の送信 / 受信フォルダの使用

1 「ソフト一覧」の順に選ぶ

2 バージョンアップするソフトを反転表示して機能メニューから「バージョンアップ」を選ぶ



3 「YES」を選ぶ



ソフトがバージョンアップされます。

バージョンアップしない場合

「NO」を選ぶ

おしらせ

ソフトが更新されていない場合は、ソフト情報を取得したあとに現在のソフトが最新であることを通知するメッセージが表示されます。

SSL対応ページの場合は、SSL通信を開始することを通知するメッセージが表示されます。そのあと、クライアント認証を行う必要がある場合はユーザ証明書を送信するかどうかのメッセージが表示されます。

「ソフト情報表示設定」を「表示する」に設定している場合は、バージョンアップする前にソフトの情報を確認できます。 P.70

バージョンアップの前に、携帯電話の製造番号およびFOMAカードの識別番号を利用することを通知するメッセージが表示される場合があります。

同じソフトを再度ダウンロードするときに、ソフトが新しいバージョンに更新されていることを確認した場合は、バージョンアップするかどうかのメッセージが表示されます。

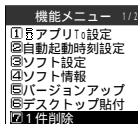
ソフトによっては、自動的にバージョンアップを実行する場合があります。その場合、バージョンアップするかどうかのメッセージが表示されます。

ソフトを削除します

保存されているソフトを1件ずつ削除したり、すべて削除したりできます。

1 「ソフト一覧」の順に選ぶ

2 削除するソフトを反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ



複数のソフトを選んで削除する場合

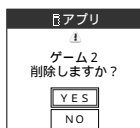
「選択削除」を選んで削除するソフトを選ぶ

すべてのソフトを削除する場合

「全削除」を選んで端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について P.21

3 「YES」を選ぶ



ソフトが削除されます。

削除しない場合

「NO」を選ぶ

お知らせ

iアプリ待受画面に設定されているソフト(「 」のついているソフト)や自動起動するように設定されているソフトを削除しようとすると、ソフトの設定状態と削除するかどうかのメッセージが表示されます。

iアプリ待受画面に設定されているソフトを削除すると、「画面表示設定 (『基本編』のP.177) の「待受画面」で設定されている待受画面になります。

「全削除」すると、あらかじめ登録されているソフト(P.74)も削除されます。

メール連動型iアプリを削除する場合は、対応するメール連動型iアプリ専用フォルダを削除するかどうかのメッセージが表示されます。メール連動型iアプリのみを削除する場合は「NO」を選びます。メール連動型iアプリと対応するメール連動型iアプリ専用の送信/受信フォルダおよびフォルダ内のすべてのメールを削除する場合は「YES」を選びます。ただし、メール連動型iアプリ専用の送信/受信フォルダが使用中の場合、フォルダにセキュリティが設定されている場合、保護メールがある場合は削除できません。

メール連動型iアプリを削除すると、削除するソフトを選んでる間に受信したiアプリに対応している新着メールが削除されることがあります。

メール連動型iアプリを削除した後にiアプリに対応したメールを受信すると、受信BOXに保存されます。

ソフトの実行情報を確認します

セキュリティエラーやソフトのトレース情報などを確認できます。

● セキュリティエラーの履歴を表示します <セキュリティエラー履歴>

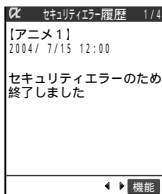
iアプリやiアプリDXで許可されていない動作を実行しようとした場合は、セキュリティエラーが発生してソフトを終了し、その内容がセキュリティエラー履歴に記憶されます。また、iアプリ待受画面でセキュリティエラーが発生した場合は、iアプリ待受画面を強制終了します。

セキュリティエラー履歴は10件まで記憶されます。

FOMA端末にセキュリティエラー情報が保存されていない場合は、履歴を表示できません。



「iアプリ実行情報」▶「セキュリティエラー履歴」の順 に選ぶ



ソフト名、セキュリティエラーの発生日時と発生理由が表示され
ます。


セキュリティエラー履歴をコピーする場合

機能メニューから「情報コピー」を選ぶ

セキュリティエラー履歴を削除する場合

機能メニューから「情報削除」を選ぶ

おしらせ

待受iアプリが起動していないときにセキュリティエラーが発生した場合は、待受画面に「」というデスクトップアイコンが表示されます。アイコンを選ぶと、セキュリティエラー履歴画面が表示されます。デスクトップアイコンについては、『基本編』のP.170をご覧ください。

iアプリ待受画面でセキュリティエラーが発生した場合は、セキュリティエラー履歴のほかに「待受画面終了情報 (P.88)」にも記憶されます。

ソフトを作成される方へ

ソフトを作成して正常に動作しないときは、トレース情報が参考になる場合があります。

トレース情報のメモリの空きがなくなると、古い情報から順番に上書きされます。

FOMA端末にトレース情報が記憶されていない場合は、トレース情報を表示できません。



「iアプリ実行情報」▶「トレース情報」の順に選ぶ

ソフトのトレース情報が発生した順番で表示されます。

トレース情報をコピーする場合

機能メニューから「情報コピー」を選ぶ

トレース情報を削除する場合

機能メニューから「情報削除」を選ぶ

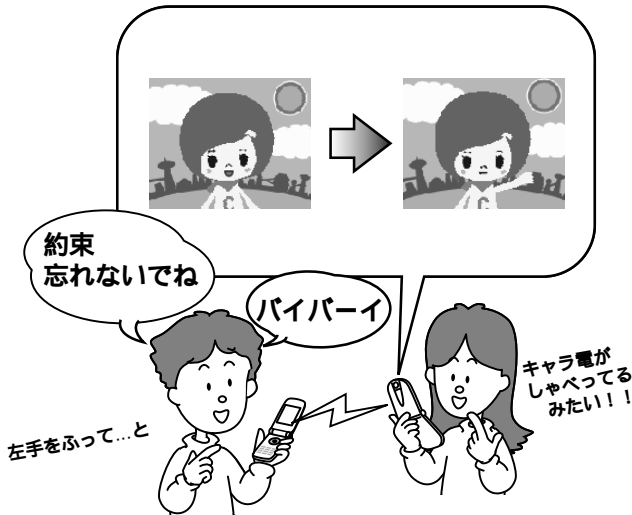
キャラ電とは

テレビ電話をお使いのときに、相手のFOMA端末に自分側のカメラ映像を送る代わりにキャラクタを代替画像として送ることができます。

キャラクタにいろいろなアクションを与えたり、音声に合わせてキャラクタの口を動かかし、キャラクタも話しているような動作をすることができます。 P.325

キャラ電プレーヤーで撮影(P.327)した静止画や動画を待受画面に設定したり、iモードメールに添付して送ることができます。

キャラクタは内蔵キャラクタのほかに、サイトからお好きなキャラクタをダウンロードして登録することができます。 P.93



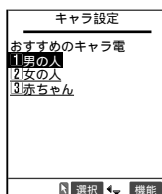
キャラ電をダウンロードします

好きなキャラ電を3件までダウンロードして保存できます。

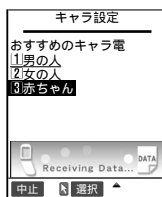
保存したキャラ電はキャラ電プレーヤーで再生できます。 P.324

ダウンロードしたキャラ電の詳細情報を確認できます。 P.324

1 ダウンロードしたいキャラ電のサイトのページを表示する



2 キャラ電を選んでダウンロードする

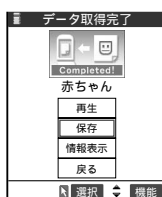


データの取り込みが完了すると、データ取得完了画面が表示されます。

中止する場合

[中止] を押す

3 データ取得完了画面で「保存」を選ぶ



保存するかどうかのメッセージが表示されます。

「再生」を選ぶと保存する前にキャラ電プレーヤーで確認できます。

キャラ電の操作方法 P.325

保存する場合

「YES」を選ぶ

保存したことを通知するメッセージが表示されます。

保存を中止する場合

「NO」を選ぶ

保存せずにデータ取得完了画面に戻ります。

保存されているキャラ電がいっぱいの場合

不要なキャラ電を削除してから保存するかどうかのメッセージが表示されます。

保存するときは「YES」を選び、削除するキャラ電を選びます。保存を中止するときは「NO」を選びます。「NO」を選ぶと保存せずにデータ取得完了画面に戻ります。

iモーションとは

iモーションは、映像や音声、音楽のデータで、iモーション対応サイトからFOMA端末に取り込み、再生したり、待受画面や着信音に設定して楽しむことができます。

iモーション対応サイトは、iMenuの「メニューリスト」から探すことができます。

- ・ iモーションを取り込むには P.95
- ・ iモーションを再生するには P.95
- ・ iモーションの自動再生設定をするには P.120
- ・ 待受画面として設定するには 『基本編』のP.177
- ・ 着モーションとして設定するには 『基本編』のP.163

iモーションのタイプ

iモーションには、大きく分けて次の2つのタイプがあります。取得したiモーションがどのタイプであるかは、サイトやデータにより異なります。

標準タイプ

FOMA端末に最大300Kバイトまで保存することができ、次の2つの形式があります。

iモーションによっては、標準タイプでも保存できない場合があります。

取り込んだ後に再生可能な形式(最大300Kバイトまで)

取り込みながら再生可能な形式(最大300Kバイトまで)

ストリーミングタイプ

FOMA端末に保存することはできません。データを取り込みながら同時に再生するタイプで、最大2Mバイトまで再生できます。再生し終わったデータは破棄されるため、再生させるたびにデータを取り込みます。

ストリーミングタイプのiモーションのデータを取り込みながら再生することを「ストリーミング再生」と呼びます。

おしらせ

再生できるiモーションはMP4(Mobile MP4)形式です。

iモーションを待受画面に設定した場合、その再生画面から「Phone To機能」、「Mail To機能」、「Web To機能」を利用することはできません。

iモーションを楽しみます

サイトからiモーションを取り込み再生します

1 取り込みたいiモーションのサイトのページを表示する



2 iモーションを選んで取り込む



データの取り込みが完了すると、データ取得完了画面が表示されます。

中止する場合

[中止] を押す

標準タイプのiモーションのとき

「iモーション設定」の「自動再生設定 (P.120)」で取り込みながら自動再生するかどうかを設定できます。ただし、iモーションによっては自動再生されない場合があります。

ストリーミングタイプのiモーションのとき

「iモーションタイプ設定」が「標準タイプ」に設定されている場合は取り込むことができません。

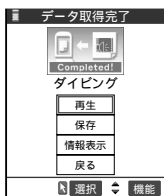
「このiモーションを再生するためにはiモーションタイプ設定を変更してください」と表示されたとき

- ・「iモーション設定」の「iモーションタイプ設定 (P.120)」が「標準タイプ」に設定されています。 [選択] を押してサイトの画面に戻り、機能メニューから「iモーションタイプ設定」を選んで「標準・ストリーミング」に設定を変更してから、再度iモーションを取り込んでください。

「ストリーミング再生しますか？」と表示されたとき

- ・「YES」を選ぶと再生がはじまります。「NO」を選ぶとサイトの画面に戻ります。
- ・「YES」を選んだ後、再生中に中止したい場合は、 [中止] を押します。

3 データ取得完了画面で「再生」を選ぶ



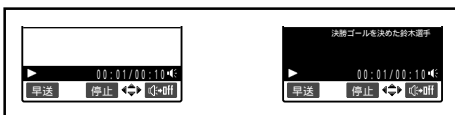
取り込んだiモーションを再生します。

「もう一度データを取得してストリーミング再生しますか?」
と表示された場合

ストリーミングタイプのiモーションのときに表示されます。
「YES」を選ぶとデータを取り込み、再生がはじまります。「NO」を
選ぶとデータ取得完了画面に戻ります。

iモーション再生中の操作について

iモーションを再生中には次の操作を行うことができます。



操作ボタン	iモーションの動作
●	再生一時停止 / 再開
⊙(↑) ⊙(↓)	音量調節
⏩	早送り再生
⏪	消音(ミュート) 音声や音楽がないときは無効になります)
⏭を1秒以上	スキップ送り
●で再生一時停止後 ⏩	コマ送り(押すごとにコマが進みます)
●で再生一時停止後、機能メニューから「スロー再生」	スロー再生
⏏	終了

: iモーションによっては利用できない場合があります。

- 標準タイプのiモーションを取り込みながら再生している場合(初回再生時のみ)は、早送り・コマ送り・スロー再生の操作はできません。ストリーミング再生の場合は、これらの操作のほか一時停止の操作もできません。⏏ 中止 を押すと中止します。

データを取り込みながら再生する場合、電波状況等によりデータを取り込むことができなくなったときでも、取り込んだところまでは再生されます。データは途中でしか取り込まれていないため、データ取得完了画面が表示されない場合があります。すべて再生するには、再度データを取り込んでください。

データを取り込みながら再生する場合、電波状況等により再生が停止したり、画像が乱れたりすることがあります。

iムーションには、次のような再生制限が設定されている場合があります、次の条件のときには再生できません。

再生制限の種類	再生できない条件
再生期間(開始日と終了日の指定あり)	再生期間前および再生期間後
再生期限(終了日のみ指定あり)	再生期限後
再生回数(再生可能回数の指定あり)	再生回数の残りが0回

再生制限の設定されているiムーションの場合は、データ取得完了画面のタイトルの左に「Ⓛ」が表示されます。

再生期間制限、再生期限制限が設定されているiムーションを再生しようとする、その制限についてのメッセージが表示されます。メッセージが消えると再生が始まります。

再生回数制限が設定されているiムーションを再生しようとする、その制限についてのメッセージが表示されます。再生するときは「YES」を選びます。再生を中止するときは「NO」を選びます。

iムーションを再生するときに、「このデータは2MBの場合があります 再生しますか?」というメッセージが表示される場合があります。「YES」を選ぶと再生をはじめますが、最大サイズを超えたストリーミングタイプのiムーションのときは再生が中断される可能性があります。また、このiムーションをもう一度取り込んだ場合でも、再生が途中で中断され、データの最後まで再生することはできません。

取り込んだiムーションによっては、正しく再生できないことがあります。

iムーションによっては取り込むことができないものがあります。

データ取得完了画面のURLは「ラストURL (P.61)」に記憶されません。この場合、ラストURLはデータ取得完了画面の前に表示していたページのURLになります。

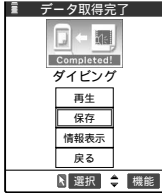
iムーションを再生すると表示されるテロップに記載されている、iムーションの文字情報を用いて、「Phone To 機能 (P.111)」、「Mail To 機能 (P.112)」、「Web To 機能 (P.113)」を利用できるものがあります。また、表示される電話番号やメールアドレスは電話帳に登録することができます。

データ取得完了画面で「保存」を選べるiモーションは、FOMA端末に保存することができます。

保存したiモーションは「ムービープレイヤー」(P.308)で再生やプログラム編集などさまざまな操作をすることができます。

iモーションはカメラでの撮影動画と合わせて100件まで保存できます。iモーションの保存可能件数は、iモーションのデータ量によって5～100件に変動します。

1 データ取得完了画面で「保存」を選ぶ



保存するかどうかのメッセージが表示されます。

保存する場合

「YES」を選ぶ

保存したことを通知するメッセージが表示されます。

保存を中止する場合

「NO」を選ぶ

保存せずにデータ取得完了画面に戻ります。

保存されているiモーションがいっぱいの場合

不要なiモーションを削除してから保存するかどうかのメッセージが表示されます。

保存するときは「YES」を選び、削除するiモーションを選びます。

保存を中止するときは「NO」を選びます。「NO」を選ぶと保存せずにデータ取得完了画面に戻ります。

保存したiモーションは、「ムービープレーヤー」のフォルダ内で一覧の一番目に表示されます。また、タイトルがないiモーションは、一覧で「無題」と表示されます。

次のiモーションは保存することができません。

- ・ 保存不可に設定されているiモーション
- ・ ストリーミングタイプのiモーション
- ・ 取り込みながら再生を中止したiモーション
- ・ 正常に取り込みが完了しなかったiモーション
- ・ 再生可能期間、再生可能期限が過ぎたiモーション
- ・ データ取得完了画面で連続して保存しようとしたiモーション

iモーションは、データ取得完了画面を「画面メモ (P.57)」として保存し、画面メモから再生することもできます。画面メモに保存する場合は、データ取得完了画面で機能メニューから「画面メモ」を選びます。

ただし、次のiモーションのデータ取得完了画面は「画面メモ」に保存することができません。

- ・ 再生制限が設定されているiモーション
- ・ ストリーミングタイプのiモーション
- ・ データが不完全なiモーション

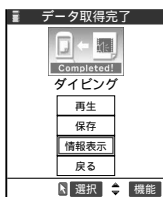
画面メモに保存したiモーションは、「ムービープレーヤー」のフォルダ内の一覧には含まれません。そのため、プログラム再生や待受画面設定などの機能は利用できません。

iモーションによっては、再生終了後にほかのページへのリンクが表示されることがあります。このリンクを選ぶと、見ていたiモーションを保存するかどうかのメッセージが表示される場合があります。保存したいときは、メッセージに従って保存してからほかのページを表示してください。


iモーションの詳細情報を表示します

iモーションのタイトル、再生制限の有無、ファイルサイズなどの詳しい情報を確認することができます。

1 データ取得完了画面で「情報表示」を選ぶ



データ情報表示画面が表示されます。①で画面をスクロールし、情報を確認します。

情報を確認したら  を押します。

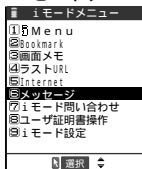
メッセージサービス機能一覧

メッセージサービス機能の画面および機能メニューから可能な操作の一覧を示します。

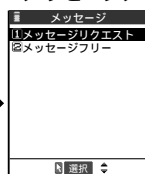
<待受画面>



<iモードメニュー>



<メッセージメニュー>

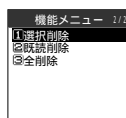
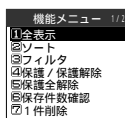
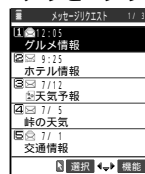


メッセージメニュー

①メッセージリクエストメッセージリクエスト一覧画面を表示します。

②メッセージフリーメッセージフリー一覧画面を表示します。

<メッセージリクエスト/フリー一覧画面>



機能メニュー 1/2

①全表示 ソート表示またはフィルタ機能による表示を元の表示(すべてを新しい順に表示)に戻します。

②ソート 指定した条件に従ってメッセージリクエスト/フリーを並べ替えます。 P.108

③フィルタ 指定した条件に従って読みたいメッセージリクエスト/フリーのみを表示します。 P.108

④保護/保護解除メッセージリクエスト/フリーを保護/保護解除します。 P.109

⑤保護全解除 保護されているメッセージリクエスト/フリーの保護をすべて解除します。 P.109

⑥保存件数確認 保存されているメッセージリクエスト/フリーの件数および未読件数、保護件数を表示します。 P.111

⑦1件削除メッセージリクエスト/フリーを1件削除します。 P.110

機能メニュー 2/2

①選択削除 メッセージリクエスト/フリーを選んで削除します。 P.110

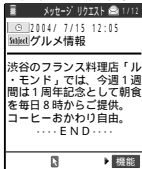
②既読削除 すでに読んだメッセージリクエスト/フリーをすべて削除します。 P.110

③全削除メッセージリクエスト/フリーをすべて削除します。 P.110

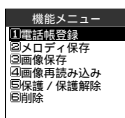
<メッセージリクエスト/フリー一覧画面>

↓ で選んで [選択]

<メッセージリクエスト/フリー詳細画面>



[機能]



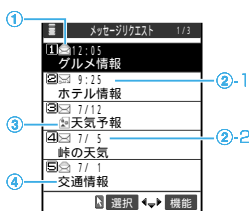
機能メニュー

- ① 電話帳登録.....メッセージリクエスト/フリーに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。 P.117
- ② メロディ保存.....メッセージリクエスト/フリーに添付または貼り付けられているメロディを保存します。 P.116
- ③ 画像保存.....メッセージリクエスト/フリーに添付されている画像を保存します。 P.115
- ④ 画像再読み込み.....取得に失敗した画像を再度読み込みます。 P.107
- ⑤ 保護 / 保護解除.....メッセージリクエスト/フリーを保護 / 保護解除します。 P.109
- ⑥ 削除.....メッセージリクエスト/フリーを削除します。 P.110

メッセージリクエスト/フリー画面の見かた

メッセージリクエスト/フリー画面は、次のように表示されます。

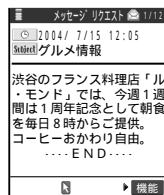
メッセージリクエスト/フリー一覧画面で表示されるアイコンは、メッセージリクエスト/フリー詳細画面でも表示されます。表示されないアイコンもあります。



一覧画面(2行表示)



一覧画面(1行表示)



詳細画面

メッセージリクエスト/フリーの状態を示しています。

- : 未読のメッセージリクエスト/フリー
- : 既読のメッセージリクエスト/フリー
- : 未読で保護されているメッセージリクエスト/フリー
- : 既読で保護されているメッセージリクエスト/フリー

受信した時刻や日付を示しています。

- 1 当日受信したメッセージリクエスト/フリーは時刻が表示されます。
- 2 前日までに受信したメッセージリクエスト/フリーは日付が表示されます。

添付または貼り付けられているファイルを示しています。

- : メロディが添付または貼り付けられていることを示しています。
- : 複数のメロディが添付または貼り付けられていて、そのうちの一部のデータが正しくないことを示しています。
- : 添付または貼り付けられているすべてのメロディのデータが正しくないことを示しています。

- : 画像が添付されていることを示しています。
- : 複数の画像が添付されていて、そのうちの一部のデータが正しくないことを示しています。
- : 添付されているすべての画像のデータが正しくないことを示しています。また、「画像表示設定」(P.119)が「表示しない」に設定されているときに表示されます。
- : 複数のデータが貼り付けられていることを示しています。

次のアイコンは、一覧画面が1行表示の場合に表示されます。

- : 添付または貼り付けられているデータがあることを示しています。
 - : 添付または貼り付けられているデータのうちの一部のデータが正しくないことを示しています。
 - : 添付または貼り付けられているすべてのデータが正しくないことを示しています。
- 題名を示しています。

メッセージリクエスト/フリーを自動的に受信します

FOMA端末が圏内にあるときは、メッセージリクエスト/フリーがiモードセンターから自動的に送られてきます。

受信したメッセージリクエスト/フリーは、FOMA端末にそれぞれ最大100件まで保存できます。メッセージリクエスト/フリーの保存可能件数はデータ量により、メッセージリクエストが20～100件、メッセージフリーが10～100件と変動します。

メッセージリクエスト/フリーを受信したときの着信音を「着信音選択」(『基本編』のP.163)でお好みの音に設定したり、着信ランプの点滅パターンを「着信イルミネーション」(『基本編』のP.185)で変更できます。



メッセージリクエスト/フリーを受信した場合


自動表示する場合(お買い上げ時)

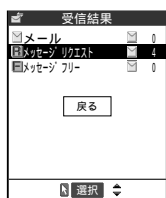
自動表示しないときは、「メッセージ自動表示設定」(P.121)を「自動表示しない」に設定してください。


通話中やiモード中などの操作中にメッセージリクエスト/フリーを受信したときに、着信音が鳴り、受信中画面が表示されるようにも設定できます。 P.224

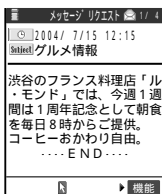


「」や「」のアイコンが点滅し「メッセージリクエスト受信中...」または「メッセージフリー受信中...」と表示されます。

- ・受信が終わると、アイコンは点灯に変わります。
- ・受信中に  を1秒以上押すと、受信を中止します。ただし、中止したタイミングによりメッセージを受信することがあります。





- ・受信が終わると、受信結果画面に受信したメールやメッセージリクエスト/フリーの件数が約15秒間表示されます。表示される時間は「メール/メッセージ鳴動」(P.233)の設定によって変わります。
- ・「メッセージリクエスト」または「メッセージフリー」を選んで  [選択] を押すと、メッセージリクエスト一覧画面またはメッセージフリー一覧画面が表示されます。





- ・待受画面表示中に受信した場合、受信したメッセージリクエスト/フリーの内容が約15秒間表示されます。ただし、待受画面でも、iモードグループ(iモード、iアプリ)の機能が起動しているときは自動表示されません。待受画面表示中以外で受信したメッセージリクエスト/フリーは自動表示されません。
- ・メッセージリクエスト/フリー表示中に画面スクロールなどの操作をすると、メッセージリクエスト/フリーの内容が表示され続けます。
- ・何も操作しないで約15秒経過すると待受画面に戻ります。

自動表示しない場合

FOMA端末の操作中にメッセージリクエスト/フリーを受信したときは、受信画面は表示されず、そのまま操作が続けられます。着信音、着信ランプ点灯、バイブレータ、バックライトの点滅は行わず、「」や「」のアイコン表示によって、メッセージリクエスト/フリーを受信したことが通知されます。

メッセージリクエスト/フリーのアイコン表示について

「」(または「」)のアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上メッセージリクエスト/フリーを受信できません。これらのアイコンが表示されなくなるまで未読のメッセージリクエスト/フリーを読むか、保護を解除(P.108)してください。読んだり、保護を解除したメッセージリクエスト/フリーは、受信時に古いものから順に上書きされます。

おしらせ

FOMA端末に保存されているメッセージリクエスト/フリーが最大保存件数(P.102)を超えた場合は、受信時に古いメッセージリクエスト/フリーから順に自動的に上書きされます。ただし、未読のメッセージと保護されているメッセージは上書きされません。必要なメッセージは保護しておくことをおすすめします。

メッセージリクエスト/フリーの一覧画面または詳細画面で表示中のメッセージは、ほかのタスクに切り替えを行っても上書きされません。メッセージリクエスト/フリーの一覧画面または詳細画面を表示中にメッセージリクエスト/フリーを受信したときは、表示中や未読のメッセージ、保護されているメッセージ以外の古いメッセージから順に上書きされます。


自動表示後も、メッセージリクエスト一覧またはメッセージフリー一覧画面の表示では未読になります。ただし、自動表示中に画面スクロールなどの操作を行ったときは、メッセージリクエスト一覧またはメッセージフリー一覧画面では既読となります。


自動表示したときは、メロディは自動再生されません。

メッセージリクエストとメッセージフリーを同時に受信したときは、「着信音選択」(『基本編』のP.163)の「メッセージリクエスト」で設定されている着信音が鳴ります。

着信音の音量は「着信音量」(『基本編』のP.79)の「メール/メッセージ」で設定した音量になります。

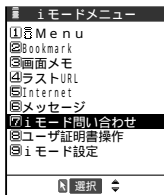
メッセージリクエスト/フリーがあるかどうか問い合わせます



iモードセンターに届いたメッセージリクエスト/フリーは自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないとき、「圏外」が表示されているとき、メモリがいっぱいのとき、テレビ電話中のとき、遠隔監視中のときなどで受信できないときはiモードセンターに保管されます。iモードセンターにメッセージリクエスト/フリーが保管され、「」のアイコンが表示されたときは、「iモード問い合わせ」を行って受信します。「iモード問い合わせ」を行うと、iモードセンターに保管されているiモードメールとメッセージリクエスト/フリーを受信します。

メールメニューから「iモード問い合わせ」を選んだり、待受画面表示中にを1秒以上押しても、iモード問い合わせができます。


問い合わせる項目は「iモード問い合わせ設定 (P.127)」で設定します。

1 [mode] 「iモード問い合わせ」の順に選ぶ



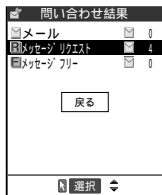
「」と「」が点滅して「問い合わせ中...」と表示され、iモードメールやメッセージリクエスト/フリーを受信します。

問い合わせを中止する場合





を1秒以上押す


問い合わせを中止したときでも、中止したタイミングによりメッセージを受信することがあります。




2 新しく受信したiモードメールとメッセージリクエスト/フリーの件数を確認する



メッセージリクエスト/フリーのアイコン表示について

「」(または「」)のアイコンが表示されたときは、iモードセンターにメッセージリクエストまたはフリーが保管されています。iモードセンターに保管されているメッセージリクエストまたはフリーがいっぱいになると「」(または「」)のアイコンの表示になります。




「」が表示されているときは問い合わせできません。

「」「」「」などのアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上iモードメールやメッセージリクエスト/フリーを受信できません。これらのアイコンが表示されなくなるまで、不要なメールやメッセージリクエスト/フリーを削除するか、未読のメールやメッセージリクエスト/フリーを読むか、保護を解除(P.108)してください。読んだり、保護を解除したメールやメッセージリクエスト/フリーは、受信時に古いものから順に上書きされます。

iモードセンターでのメッセージリクエスト/フリーの保管件数、保管期間は次のとおりです。

	最大保管件数	最大保管期間
メッセージリクエスト	300件	72時間
メッセージフリー	300件	72時間



最大保管件数を超えた場合は、各メッセージの最も古いものから順に削除されます。

iモードセンターにメッセージリクエスト/フリーが保管されていても、FOMA端末の電源が入っていないときや「」が表示されているときにセンターに届いた場合などは、「」や「」のアイコンが表示されないことがあります。

iモード問い合わせ中にセンターでお預りしたiモードメールやメッセージリクエスト/フリーは、件数に反映されないことがあります。

受信したメッセージリクエスト/フリーを見ます


受信したメッセージリクエスト/フリーはiモードメニューの「メッセージ」内に保存されます。

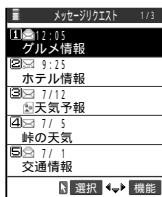
iモードセンターからFOMA端末にメッセージリクエスト/フリーが届くと画面の上部に「」や「」が表示されます。

別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを抜いたままFOMA端末の電源を入れた場合は、メロディや画像が添付または貼り付けられているメッセージリクエスト/フリーの詳細画面を表示できなくなります。元のFOMAカードを挿入し直すと、それらのメッセージリクエスト/フリーを表示できるようになります。 P.19

<例：メッセージリクエストを見るとき>

1

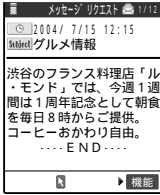
「mode」▶「メッセージ」▶「メッセージリクエスト」の順に選ぶ



メッセージフリーを見る場合

「メッセージフリー」を選ぶ

2 表示したいメッセージを選ぶ



メッセージリクエスト詳細画面で前または次のメッセージリクエストを表示させるときは を押します。

メッセージリクエスト詳細画面で を押すと、メッセージリクエスト一覧画面に戻ります。

お知らせ

メッセージリクエスト/フリーに「OK」や「Cancel」などのボタン、ラジオボタン、チェックボックス、テキストボックス、プルダウンメニュー、セレクトボックスなどが表示されることがあります。表示されたときは、サイトなどと同じ操作を行ってください。 P.34

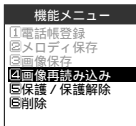
FOMA端末を開いたときやボタンを押したとき、メッセージリクエスト/フリーを受信したときなどにバックライトを約15秒間点灯します(点灯時間は「メール/メッセージ鳴動」(P.233)の設定によって変わります)。ただしメッセージリクエスト/フリーの本文を表示させたときは、本文の長さにより点灯時間が異なります。なお、「照明設定」(『基本編』のP.183)の「通常時」を「OFF」に設定しているときは点灯しません。

●メッセージリクエスト/フリーの画像を再度読み込みます <画像再読み込み>

メッセージリクエスト/フリー本文内の画像が取り込まれずに が表示されている場合、画像を再読み込みすると表示されます。

サイトなどでの画像表示について P.44

1 メッセージリクエストまたはフリーの詳細画面を表示し、機能メニューから「画像再読み込み」を選ぶ



「画像再読み込み」で再読み込みするのは本文内画像のみです。添付画像は再読み込みしません。

「」で表示されている画像は読み込めません。

メッセージリクエスト / フリーの表示方法を変更します

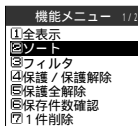
受信したメッセージリクエスト / フリーを目的に応じて順番を並び替えたり、条件に合うメッセージリクエスト / フリーのみを表示することができます。

機能名	設定項目	表示方法	設定項目	分類方法
ソート表示	ソート	メッセージリクエスト / フリーの順番を並び替えます。	新しい順	新しい順に並び替えます。
			古い順	古い順に並び替えます。
フィルタ機能	フィルタ	メッセージリクエスト / フリー一覧画面に、指定した条件に合うメッセージのみを表示します。	未読のみ	未読のメッセージのみ表示します。
			既読のみ	既読のメッセージのみ表示します。
			保護のみ	保護されたメッセージのみ表示します。
			メロディのみ	メロディが添付されたメッセージのみ表示します。
			画像のみ	画像が添付されたメッセージのみ表示します。

フィルタ機能やソート表示でメッセージリクエスト / フリーの表示方法を変更しても、その画面を終了し再度それぞれの一覧画面を表示すると、新しい順の全表示に戻ります。詳しい操作手順は、iモードメールのソート表示 / フィルタ機能 (P.208、P.209) を参照してください。

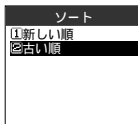
< 例：メッセージリクエストを古い順に表示する場合 >

1 メッセージリクエスト一覧画面の機能メニューから「ソート」を選ぶ



元の表示に戻す (すべてのメッセージを新しい順に表示させる) には、機能メニューから「全表示」を選びます。

2 「古い順」を選ぶ



古いメッセージから順に並び替えられて表示されます。

おしらせ

ソート表示とフィルタ機能を併用できます。例えば、未読メッセージのみで古い順に表示させたいときは、フィルタメニューの「未読のみ」を選び、ソートメニューの「古い順」を選びます。

メッセージリクエスト/フリーを管理します

受信したメッセージリクエスト/フリーを保護したり削除することができます。

メッセージリクエスト/フリーを保護します

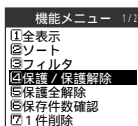
残しておきたいメッセージリクエスト/フリーを保護できます。保護されたメッセージリクエスト/フリーは、上書きや削除ができなくなります。

メッセージリクエストとメッセージフリーはそれぞれ最大50件まで保護できます。保護可能件数は、メッセージリクエスト/フリーのデータ量により変動します。

<例：メッセージリクエストを保護する場合>

1 メッセージリクエスト一覧画面を表示する

2 保護(または保護解除)するメッセージリクエストを反転表示して、機能メニューから「保護/保護解除」を選ぶ



保護されていないものは保護され(時刻や日付の左側に「🔑」/「📧」を表示)、保護されているものは保護解除されます。

お知らせ

FOMA端末に保存されているメッセージリクエストやメッセージフリーが最大保存件数(P.102)を超えた場合、メッセージ受信時に、保護されていない既読のメッセージリクエストやメッセージフリーから古い順に上書きされます。

メッセージリクエスト/フリー詳細画面で機能メニューから「保護/保護解除」を選んで保護/保護解除ができます。

メッセージリクエスト/フリー一覧画面で機能メニューから「保護全解除」を選ぶと、保護されているメッセージリクエスト/フリーの保護がすべて解除されます。

メッセージリクエスト/フリーを削除します

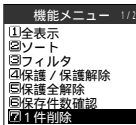
受信したメッセージリクエスト/フリーを削除します。メッセージリクエスト/フリーの削除には次の方法があります。詳しい操作手順については、iモードメールの削除(P.212)を参照してください。

削除の種類	説明
1件削除	1件のメッセージリクエスト/フリーを削除
選択削除	削除するメッセージリクエスト/フリーを一覧から選んで削除
既読削除	すでに読んだメッセージリクエスト/フリーをすべて削除
全削除	メッセージリクエスト/フリーをすべて削除

<例：メッセージリクエストを1件削除する場合>

1 メッセージリクエスト一覧画面を表示する

2 削除するメッセージリクエストを反転表示して、機能メニューから「1件削除」を選ぶ



削除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶとメッセージリクエストが削除され、削除されたことを通知するメッセージが表示されます。

削除を中止する場合

「NO」を選ぶ

おしらせ

保護されているメッセージリクエスト/フリーは削除できません。

フィルタ機能で指定したメッセージリクエスト/フリーだけを表示しているときに「既読削除」や「全削除」を行うと、表示されているメッセージリクエスト/フリーから、既読またはすべての保護されていないメッセージリクエスト/フリーが削除されます。

メッセージリクエスト/フリー詳細画面で機能メニューから「削除」を選んで削除することもできます。

メッセージリクエスト/フリーの保存件数を確認します

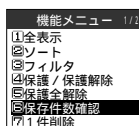
メッセージリクエスト/フリーの保存件数、未読件数や保護件数を確認できます。件数を確認できるメッセージリクエスト/フリーの種類は次のとおりです。

表示項目	表示内容
全件	受信したすべてのメッセージリクエスト/フリーの件数を表示
未読	未読のメッセージリクエスト/フリーの件数を表示
保護	保護されたメッセージリクエスト/フリーの件数を表示

未読で保護されたメッセージは、未読と保護の両方の件数に加えられます。

<例：メッセージリクエストの保存件数を確認する場合>

1 メッセージリクエスト一覧画面で機能メニューから「保存件数確認」を選ぶ



メッセージフリーの保存件数を確認する場合は、メッセージフリー一覧画面で機能メニューから「保存件数確認」を選びます。メッセージがない場合は、「メッセージリクエスト(フリー)はありません」と表示されます。

表示されている電話番号へ電話をかけます

サイトやメールに表示されている電話番号や電話番号が登録された項目(「ご連絡はこちら」など)を利用して、音声電話/テレビ電話をかけることができます。

テレビ電話でのPhone To機能のことをAV Phone To機能と呼びます。

「指定発信制限」「ダイヤル発信制限」「セルフモード」(『基本編』のP.141、P.205、P.207)を設定している場合は、Phone To機能で電話をかけることはできません。

サイトによってはPhone To機能をご利用にならない場合があります。

<例：音声電話をかける場合>

1 表示されている電話番号または電話番号が登録された項目を選ぶ

開園・閉園時間/
9:00-19:00
休園日/ 月曜日
入場料/ 大人800円
学生600円
子供500円
詳しくは電話でお問い合わせください。
03-XXXX-XXXX
なお、休日はお車でのご来園はご遠慮ください。
N 選択 ◀ 機能

メールの送信元や宛先が電話番号や「電話番号@...」のメールアドレスのときも電話をかけられます。

2 「音声発信」を選ぶ

発信種別選択
03XXXXXXXX
選択してください
<input checked="" type="radio"/> 音声発信
<input type="radio"/> 32KTV電話発信
<input type="radio"/> 64KTV電話発信
<input type="radio"/> TV電話画像選択

「64KTV電話発信」または「32KTV電話発信」を選ぶと、テレビ電話をかけられます。

テレビ電話をかける場合は、「TV電話画像選択」で送信する画像を選ぶことができます。

3 「発信」を選ぶ

電話発信
03XXXXXXXX
発信しますか?
<input checked="" type="radio"/> 発信
<input type="radio"/> 中止
<input type="radio"/> 発信号通知しない
<input type="radio"/> 発信号通知する

「発信号設定」が「通知する」のときに、電話番号を通知しないでかけたい場合

「発信号通知しない」を選ぶ

「発信号設定」について 『基本編』のP.124

「発信号設定」が「通知しない」のときに、電話番号を通知してかけたい場合

「発信号通知する」を選ぶ

電話をかけるのをやめる場合

「中止」を選ぶ

お知らせ

パケット通信でのデータ通信中は、Phone To機能でテレビ電話をかけられません。
メール、サイト、メッセージリクエスト/フリーの本文に次の条件に当てはまる文字列が表示されているときは、Phone To機能を利用できます。

- ・「+」または数字の「0」からはじまる10～26桁の文字列
- ・「*」または「#」ではじまる5～26桁の文字列(桁数については文頭の「*」、「#」を含む)
- ・「tel:」または「tel-av:」ではじまる3～26桁の文字列

:「(」,「)」,「.」,「-」の半角文字列が区切り文字として認識されます。「+」が途中に含まれる場合は、「+」の前までとなります。

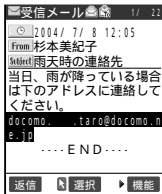
Mail To 機能

表示されているメールアドレスにメールを送ります

サイトやメールなどに表示されているメールアドレスやメールアドレスが登録された項目(「ご連絡はこちら」など)を利用して、iモードメールを送ることができます。
「ダイヤル発信制限」(『基本編』のP.205)を設定しているときは、Mail To機能を利用できません。

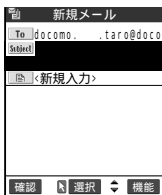
サイトによってはMail To機能をご利用になれない場合があります。

1 表示されているメールアドレスを選ぶ



複数のメールアドレスが反転表示されている場合は、複数の宛先が指定されます。

2 iモードメールを作成して送信する



題名、本文が自動で入力される場合があります。

詳しくは「iモードメールを作成/送信します」(P.152)を参照してください。

お知らせ

保存メールが10件ある場合は、Mail To機能を利用できません。

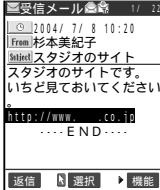
メールアドレスが2つ以上続けて表示されているときは、Mail To機能をご利用できない場合があります。

メールアドレスとして使える文字数は半角で50文字までです。

表示されているURLのページに接続します

サイトやメールなどに表示されているURLやURLが登録された項目(「次へ」など)を利用して、インターネットホームページを表示できます。

1 表示されているURLを選ぶ



インターネットホームページが表示されます。

おしらせ

URLの表示はサイトにより異なります。

メールやメッセージリクエスト/フリーの本文中に表示されている「http://」または「https://」ではじまるURLからもページを表示できます。

表示されている画面の情報を登録 / 保存します

サイトやiモードメール、メッセージリクエスト/フリーなどに表示されているメロディ、画像、フレーム、電話番号、メールアドレス、キャラ電などの情報を、FOMA端末に登録・保存できます。

サイトから辞書をダウンロードして保存できます(ダウンロード辞書)。ダウンロードした日本語変換用の辞書の中から2つまでを変換用辞書として設定できます。『基本編』のP.321

サイトやiモードメールに登録または添付されているメロディを保存すると、着信音などに設定できます。

サイトや画面メモ、iモードメールに表示または添付されている画像やアニメーションを保存すると、待受画面やウェイクアップ表示などに設定できます。

iモードメールに添付されているメロディや画像の保存についてはP.187、P.188を参照してください。

別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを抜いたままFOMA端末の電源を入れた場合は、メロディや画像などが含まれている画面メモやメッセージリクエスト/フリーを表示できなくなります。元のFOMAカードを挿入し直すと、それらの画面メモやメッセージリクエスト/フリーを表示できるようになります。 P.19

サイトやiモードメールからiアプリを起動する方法について P.76

iモードを取り込む操作について P.95、P.190

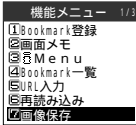
サイトや画面メモからキャラ電をダウンロードして保存する方法について P.93

画像を保存します

サイトや画面メモ、iモードメール、メッセージリクエスト/フリー本文内に表示された画像を保存し、待受画像などに設定できます。

<例：サイトに表示されている画像を保存する場合>

1 保存したい画像があるページを表示し、機能メニューから「画像保存」を選ぶ



表示しているサイトなどの画面に画像がない場合、または「画像表示設定」(P.119)を「表示しない」に設定している場合は、機能メニューの「画像保存」は利用できません。

2 保存する画像を選ぶ



保存する画像に をあわせませす。

画像を保存するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選び、保存先のフォルダを選ぶと画像が保存され、保存したことを通知するメッセージが表示されます。

保存されている画像がいっぱいの場合

不要な画像を削除してから保存するかどうかのメッセージが表示されます。保存するときは「YES」を選び、削除する画像を選びます。

画像の保存を中止する場合

「NO」を選ぶ

おしらせ

保存後に表示される画面で待受画面などに設定することもできます。

保存した画像のファイル名が半角英数字のみの場合、そのファイル名で保存されます(ただし、半角で36文字まで)。ファイル名が指定されていない場合は、ダウンロードしたURLの最後の「/」から「.」の間の文字がファイル名になります。それ以外の場合は、「imagexxx (xxx: 3桁の番号)」のファイル名で保存されます。ファイル名の末尾3桁の番号は同一ファイル名を区別するためのシリアル番号としてつけられます。

次の条件を満たす画像は、フレーム画像として保存されます。

- ・透過GIFファイル(アニメーションGIFファイルでない)
- ・ファイルの拡張子が「.ifm」
- ・画像サイズが「352×288 ドット」、または「240×269 ドット」、「176×144 ドット」、「128×96 ドット」

画像によっては、保存できない場合があります。

メロディを保存します

サイトやiモードメールに登録または添付されているメロディを保存すると、着信音などに設定できます。

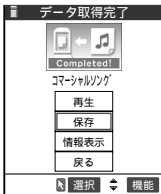
<例：サイトからメロディを保存する場合>

1 メロディをダウンロードできるサイトを表示し、メロディを選ぶ



メロディを選ぶと、メロディの取り込みがはじまります。取り込みが完了すると、データ取得完了画面が表示されます。

2 「保存」を選ぶ



保存するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶとメロディを保存し、保存したことを通知するメッセージが表示されます。

保存されているメロディがいっぱいの場合

不要なメロディを削除してから保存するかどうかのメッセージが表示されます。保存するときは「YES」を選び、削除するメロディを選びます。

メロディの保存を中止する場合

「NO」を選ぶ

「再生」を選ぶと、メロディを再生します。

「情報表示」を選ぶと、メロディの情報を表示します。

おしらせ

保存後に表示される画面で着信音などにも設定できます。

取り込んだメロディには、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。そのようなメロディでは、再生するときにはメロディのすべての部分が再生されますが、着信音などに設定したときは指定部分のみが再生されます。

取り込んだメロディは正しく再生されない場合があります。

データ取得完了画面のURLは「ラストURL」に記憶されません。この場合、「ラストURL」はデータ取得完了画面の前に表示していたページのURLになります。

保存したメロディのタイトルは、一覧の一番目に表示されます。iモードメールから保存したメロディは、ファイル名がタイトルになります。サイトからダウンロードしたメロディにタイトルがつけられていない場合は、「無題」と表示されます。

保存したメロディのファイル名が半角英数字のみの場合、そのファイル名で保存されます(ただし、半角で36文字まで)。ファイル名が指定されていない場合は、ダウンロードしたURLの最後の「/」から「.」の間の文字がファイル名になります。それ以外の場合は、「melodyxxx(xxx : 3桁の番号)のファイル名で保存されます。ファイル名の末尾3桁の番号は同一ファイル名を区別するためのシリアル番号としてつけられます。

「マナーモード(『基本編』のP.135)に設定中のときは、取り込んだメロディを再生するとき、マナーモード中に再生するかどうかのメッセージが表示されます。

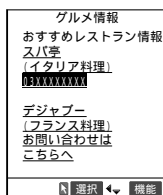
通話中はメロディの再生ができません。

電話番号やアドレスを電話帳に登録します

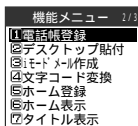
サイトや画面メモ、iモードメール、メッセージリクエスト/フリーなどに表示されている、電話番号、メールアドレスなどの情報を電話帳に登録できます。

<例：サイトに表示されている電話番号を登録する場合>

1 登録したい情報のあるページを表示し、登録する電話番号を反転表示する



2 機能メニューから「電話帳登録」を選ぶ



電話帳に登録するかどうかのメッセージが表示されます。

「YES」を選ぶと電話帳登録をします。

登録を中止する場合

「NO」を選ぶ

3 電話帳に登録する

電話帳に登録します。『基本編』のP.108

電話番号に名前やフリガナ、メールアドレスの情報が付加されているときは、電話番号とともに入力されます。残りの必要な項目を入力して電話帳に登録します。

おしらせ

サイトのページなどで反転表示された情報(電話番号、メールアドレスなど)に名前やフリガナ、電話番号、メールアドレスの情報が付加されているときに「本体」への「追加登録」を選ぶと、「電話帳検索」のメニュー(『基本編』のP.116)に「自動検索」が表示されます。「自動検索」を選ぶと同じ名前、フリガナの電話帳を検索できます。

電話番号やメールアドレスによっては電話帳に登録できない場合があります。

電話帳に登録できない文字(絵文字など)が含まれていた場合、その文字はスペースになります。

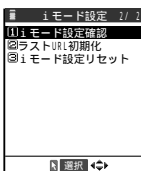
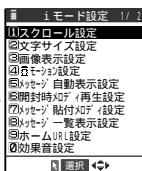
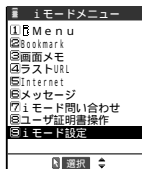
iモード設定機能一覧

iモード設定機能の画面および設定一覧を示します。

< 待受画面 >



< iモードメニュー >



iモード設定 1/2

- ①スクロール設定.....サイト画面や画面メモ、メッセージリクエスト/フリー画面のスクロール行数を設定します。 P.119
- ②文字サイズ設定.....サイト画面やメッセージリクエスト/フリー画面の詳細画面の文字サイズを設定します。 P.119
- ③画像表示設定.....サイト画面や画面メモ、メッセージリクエスト/フリー画面の画像表示について設定します。 P.120
- ④iモーション設定.....iモーションの自動再生や取得するiモーションの種類について設定します。 P.121
- ⑤メッセージ自動表示設定...受信したメッセージリクエスト/フリーの自動表示について設定します。 P.123
- ⑥開封時メロディ再生設定...メッセージリクエスト/フリーを開いたときのメロディの自動再生について設定します。 P.123
- ⑦メッセージ貼付メロディ設定...メッセージリクエスト/フリーに貼り付けられたメロディの再生と保存について設定します。 P.123
- ⑧メッセージ一覧表示設定...メッセージリクエスト/フリー一覧画面の1件の表示行数を設定します。 P.123
- ⑨ホームURL設定.....ホームURLを設定します。 P.60
- ⑩効果音設定.....サイト画面や画面メモのFlash画像の効果音について設定します。 P.124

iモード設定 2/2

- ①iモード設定確認.....iモード設定の設定内容を確認します。 P.124
- ②ラストURL初期化.....ラストURLを初期化します。 P.124
- ③iモード設定リセット...iモード設定の設定内容をお買い上げのときに戻します。 P.125

画面表示の設定をします

iモードやメッセージリクエスト/フリーの画面表示を使いやすいように設定できます。

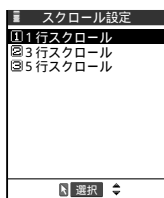
スクロール行数を設定します

<スクロール設定>

お買い上げ時 1行スクロール

サイト画面や画面メモ、メッセージリクエスト/フリー画面で \odot を押したときに画面が何行分送られて(スクロールされて)表示されるかを設定します。

1 \odot [mode] ▶「iモード設定」▶「スクロール設定」の順に選ぶ



- 1行スクロール：1行単位でスクロールされます。
- 3行スクロール：3行単位でスクロールされます。
- 5行スクロール：5行単位でスクロールされます。

文字の表示サイズを設定します

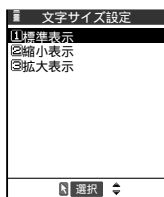
<文字サイズ設定>

お買い上げ時 標準表示

サイト画面やメッセージリクエスト/フリーの詳細画面の文字サイズを変更して、画面に表示される文字の量を増やしたり、文字を大きくして見やすくしたりできます。

文字サイズ設定を変更すると、文字、絵文字、サイトの入力や選択の文字サイズが変更されます。画像や線などのサイズは変更されません。

1 \odot [mode] ▶「iモード設定」▶「文字サイズ設定」の順に選ぶ

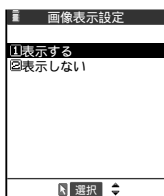


- 標準表示：標準の文字サイズで表示されます。
- 縮小表示：文字サイズを小さくして表示します。
- 拡大表示：文字サイズを大きくして表示します。


お買い上げ時 表示する

サイト画面や画面メモ、メッセージリクエスト/フリー画面の画像表示について設定します。画像を表示しないように設定すると画像を読み込まないため、ページの表示が早くなります。

1 「iモード設定」▶「画像表示設定」の順に選ぶ



表示する : 画像を表示します。

表示しない : 画像を表示しません。表示されない画像の代わりに「」のアイコンが表示されます。

お知らせ

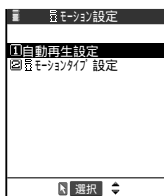
サイト画面表示中に機能メニューから「画像表示設定」を選んで画像を表示するかどうかの設定を行うこともできます。その場合、本設定も変更されます。「表示しない」に設定するとFlash画像も表示されません。

iモード設定

iモードについて設定します

iモード設定には、「自動再生設定」と、「iモードタイプ設定」があります。

1 「iモード設定」▶「iモードタイプ設定」の順に選ぶ



自動再生設定 : iモードを取り込んだ後、自動再生するかどうかを設定します。

iモードタイプ設定 : 取り込むiモードのタイプを設定します。

お買い上げ時 | 自動再生する

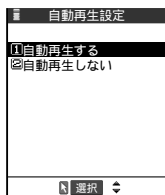
サイト画面からiモーションを取り込んだときやiモーションを含んでいる画面メモを表示したときに、iモーションを自動的に再生するかどうかを設定します。

「自動再生設定」は、標準タイプのiモーションのみ、設定が有効になります。ストリーミングタイプのiモーションは、本設定にかかわらず自動再生されます。

iモーションのタイプ P.94

1 iモーション設定画面から「自動再生設定」を選ぶ

2 自動再生するかどうかを選ぶ



自動再生する : iモーションを取り込んだ後、自動再生します。一部のiモーションは、データを取り込みながら再生します。

自動再生しない : iモーションを取り込んでも、自動再生せずにiモーション取得完了画面を表示します。

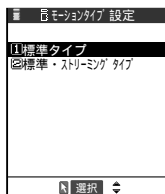
取り込むiモーションのタイプを設定します <iモーションタイプ設定>

お買い上げ時 | 標準タイプ

サイトから新しいiモーションを取り込むとき、取り込むiモーションのタイプを設定します。

1 iモーション設定画面から「iモーションタイプ設定」を選ぶ

2 再生するタイプを選ぶ



iモーションのタイプ P.94

標準タイプ : 標準タイプのiモーションのみを取り込みます。

標準・ストリーミングタイプ : 標準タイプおよびストリーミングタイプのiモーションを取り込みます。

メッセージリクエスト/フリーについて設定します

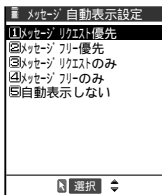
メッセージリクエスト/フリーに関する設定には、「メッセージ自動表示設定」、「開封時メロディ再生設定」、「メッセージ貼付メロディ設定」、「メッセージ一覧表示設定」があります。

受信したときの自動表示について設定します <メッセージ自動表示設定>

お買い上げ時 メッセージリクエスト優先

メッセージリクエスト/フリーを受信したときの自動表示の方法について設定します。

1 「iモード設定」▶「メッセージ自動表示設定」の順に選ぶ



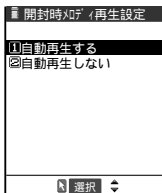
- メッセージリクエスト優先 : メッセージリクエストを優先して自動表示します。
- メッセージフリー優先 : メッセージフリーを優先して自動表示します。
- メッセージリクエストのみ : メッセージリクエストのみを自動表示します。
- メッセージフリーのみ : メッセージフリーのみを自動表示します。
- 自動表示しない : メッセージを自動表示しません。

開いたときのメロディの再生について設定します <開封時メロディ再生設定>

お買い上げ時 自動再生する

メッセージリクエスト/フリーを開いたときに、添付されているメロディや貼り付けられているメロディがある場合に自動再生するかどうかを設定します。

1 「iモード設定」▶「開封時メロディ再生設定」の順に選ぶ




- 自動再生する : メロディを自動再生します。
- 自動再生しない : メロディを自動再生しません。

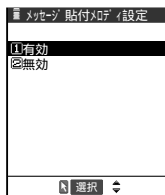
貼り付けられているメロディについて設定します <メッセージ貼付メロディ設定>

お買い上げ時 有効

メッセージリクエスト／フリーに貼り付けられているメロディの再生や保存をできるようにするかどうかが設定します。

本設定は、メッセージリクエスト／フリーに貼り付けられているメロディ(「🎵」のアイコンがついているメロディ)についてのみ適用されます。メッセージリクエスト／フリーに添付されたメロディには適用されません。

1  「iモード設定」▶「メッセージ貼付メロディ設定」の順に選ぶ




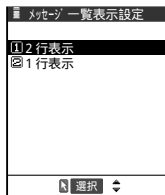
有効：貼り付けられているメロディの再生／保存ができます。
無効：貼り付けられているメロディの再生／保存はできません。
「無効」に設定すると、「🎵」のアイコンがついているメロディが文字列の表示に変わります。

一覧画面の表示行数を設定します <メッセージ一覧表示設定>

お買い上げ時 2行表示

メッセージリクエスト／フリーの一覧画面を2行表示、または1行表示に切り替えます。

1  「iモード設定」▶「メッセージ一覧表示設定」の順に選ぶ




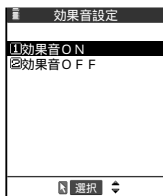
2行表示：1件につき2行ずつで表示します。
1行表示：1件につき1行ずつで表示します。

サイトや画面メモの効果音について設定します

お買い上げ時 効果音ON

サイト画面や画面メモのFlash画像の効果音を鳴らすかどうか設定します。

1  [iMode] ▶ 「iモード設定」▶ 「効果音設定」の順に選ぶ



効果音ON : Flash画像の効果音を鳴らすように設定します。
効果音OFF : Flash画像の効果音を鳴らさないように設定します。

お知らせ

本設定で変更されるのは、Flash画像の効果音のみです。貼付または添付されたメロディには影響しません。

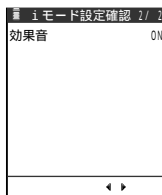
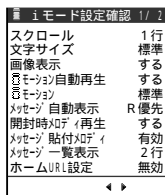
効果音の「ON / OFF」は、サイト画面や画面メモを表示中に機能メニューから「効果音設定」を選んでも設定できます。その場合、本設定も変更されます。

iモード設定の内容を確認します

「iモード設定」で設定した内容を確認できます。

iモード設定項目	表示内容
スクロール	画面のスクロール行数を表示します。
文字サイズ	画面の文字の表示サイズを表示します。
画像表示	画面の画像表示の設定を表示します。
iモーション自動再生	iモーションの自動再生の設定を表示します。
iモーション	iモーションの取り込むタイプを表示します。
メッセージ自動表示	メッセージリクエスト / フリー受信時の自動表示の設定を表示します。
開封時メロディ再生	メッセージリクエスト / フリー開封時のメロディの自動再生の設定を表示します。
メッセージ貼付メロディ	メッセージリクエスト / フリーに添付されたメロディの設定を表示します。
メッセージ一覧表示	メッセージリクエスト / フリーの一覧画面の表示行数を表示します。
ホームURL設定	ホームURLの設定を表示します。
効果音	Flash画像の効果音の設定を表示します。

1


 「iモード設定」▶「iモード設定確認」の順に選ぶ


「iモード設定」の項目と設定内容が表示されます。

iモード設定をお買い上げ時の状態に戻します

ラストURLの初期化、およびiモード設定をお買い上げのときの状態に戻します。

ラストURLを初期化します

<ラストURL初期化>

記憶されているラストURLを初期化します。初期化すると、ラストURLはiMenu画面のURLになります。

1


 「iモード設定」▶「ラストURL初期化」の順に選ぶ

ラストURLを初期化するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶとラストURLが初期化されます。

「iモード設定」の設定内容をお買い上げのときの状態に戻します。
リセットされる項目およびリセット後の状態は次のとおりです。

設定項目	設定リセット時
スクロール設定	1行スクロール
文字サイズ設定	標準表示
画像表示設定	表示する
iモーション設定の自動再生設定	自動再生する
iモーション設定のiモーションタイプ設定	標準タイプ
メッセージ自動表示設定	メッセージリクエスト優先
開封時メロディ再生設定	自動再生する
メッセージ貼付メロディ設定	有効
メッセージ一覧表示設定	2行表示
ホームURL設定	無効、ホームURL 初期化(http://)
効果音設定	効果音ON
ラストURL	iMenu画面のURL

1  [mode] ▶ 「iモード設定」▶ 「iモード設定リセット」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について P.21

設定をリセットするかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと、設定がリセットされます。

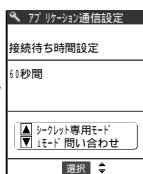
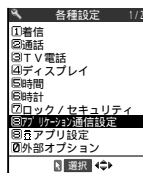
アプリケーション通信設定機能一覧

アプリケーション通信設定機能の画面および設定一覧を示します。

< 待受画面 >



「各種設定」を選んで ● [選択]



< ⑧ アプリケーション通信設定 >

⑧を押して次の項目を表示させ、● [選択]を押して設定画面に入ります。

- ・接続待ち時間設定..... サイトなどに接続するときの待ち時間を設定します。下記
- ・iモード問い合わせ設定..... iモードセンターへ問い合わせをする項目を設定します。 P.128
- ・接続先選択..... iモード以外のサービスを受けるときに使う接続先の設定をします（通常は設定を変更する必要はありません）。 P.129
- ・SMS center設定..... ドコモのSMSセンターを利用するか、他社のSMSセンターを利用するかを設定します（通常は設定を変更する必要はありません）。 P.240
- ・証明書..... 証明書の有効/無効を設定します。 P.131
- ・証明書センター接続設定..... ユーザ説明書をダウンロードするときの接続先を設定します。 P.132

接続待ち時間設定

サイトなどに接続するときの待ち時間を設定します

お買い上げ時 60秒間

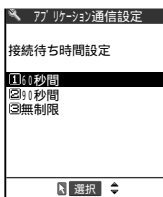
サイトなどに接続しようとしたときや「iモード問い合わせ」をしようとしたときに応答がない場合、自動的に接続を中止するまでの待ち時間を設定します。

1



「アプリケーション通信設定」▶「接続待ち時間設定」の順に選ぶ

2 接続待ち時間を選ぶ



60秒間：60秒間応答がない場合、自動的に接続を中止します。
90秒間：90秒間応答がない場合、自動的に接続を中止します。
無制限：接続を自動的に中止しません。

おしらせ


「無制限」の場合、接続は自動的に中止されません。ただし、電波状況によっては通信が切断される場合があります。


iモード問い合わせ設定

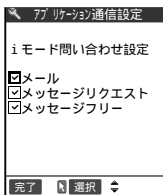
iモードセンターへ問い合わせをする項目を設定します

お買い上げ時 すべて「問い合わせをする」

「iモード問い合わせ」をするときに問い合わせる項目を設定します。「メール（iモードメール）」「メッセージリクエスト」「メッセージフリー」それぞれについて、問い合わせるかどうかを設定します。

1  「アプリケーション通信設定」▶「iモード問い合わせ設定」の順に選ぶ

2 問い合わせる項目を選び、 [完了]を押す



: 問い合わせをする
 : 問い合わせをしない

接続先の設定を変更しません(ISP接続通信)

通常は設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時 | iモード

iモード以外のサービスを受けるときに使う接続先の設定をします。



「iモード」以外の接続先に変更するとiモードやiモードメールをご利用できなくなります。またiアプリによってはサイトとの通信も利用できなくなります。

ISP接続通信とは

- ・ FOMA端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ(ISP)への接続が可能になります。
- ・ ISP接続通信にはパケット通信料がかかります。
：ドコモへの新たなお申し込みは不要です。

プロバイダ契約について

- ・ ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容(サイト接続、インターネット接続、メール機能など) お申し込み方法については各プロバイダにお問い合わせください。
- ・ プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料等がかかる場合がありますが、ドコモよりご請求することはありません。
- ・ お客様が閲覧されているサイトによっては、お客様の電話番号が閲覧中のサイトを提供するプロバイダに通知される場合があります。

1   「アプリケーション通信設定」▶「接続先選択」の順に選ぶ

2 <未登録>を反転表示して  「編集」を押し、端末暗証番号を入力する

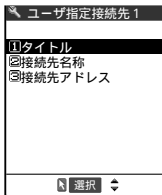


端末暗証番号について P.21

接続先は「iモード」のほかにユーザ指定接続先として10件登録できます。

「iモード」を選ぶと接続先が「iモード」に設定されます。

3 「タイトル」「接続先名称」「接続先アドレス」をそれぞれ入力し、[完了]を押す



- タイトル : 全角で9文字、半角で18文字までを入力できます。
- 接続先名称 : 半角英数で30文字までの接続先名称を入力します。
- 接続先アドレス : 半角英数で99文字までの接続先アドレスを入力します。

「タイトル」「接続先名称」「接続先アドレス」のすべてを入力しないと「完了」は表示されません。

お知らせ

登録した「ユーザ指定接続先」を変更するときは、登録と同じ操作で変更します。
登録した「ユーザ指定接続先」を削除するときは、削除する接続先を反転表示して、機能メニューから「削除」を選びます。
iモード中やISP接続通信中は設定できません。

証明書の確認や設定をします

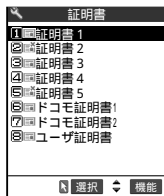
SSL証明書の内容を確認したり、SSL対応のページを表示するかどうかを設定します。

FOMAカード(青色)では、ドコモ証明書およびユーザ証明書は利用できません。

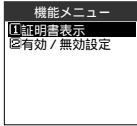
証明書を確認します

SSL証明書の内容を確認します。

1 「アプリケーション通信設定」▶「証明書」の順に選ぶ



2 内容を確認する証明書を反転表示して、機能メニューから「証明書表示」を選ぶ



3 証明書を確認する



証明書の所有者、発行元、有効期限およびシリアル番号が表示されます。

おしらせ

お買い上げのときは、ユーザ証明書は登録されていません。

証明書の有効 / 無効を切り替えます

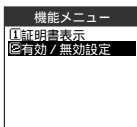
お買い上げ時 すべて「有効」

SSL証明書の有効 / 無効を切り替えます。


1 「アプリケーション通信設定」▶「証明書」の順に選ぶ




2 無効または有効にする証明書を反転表示して、機能メニューから「有効 / 無効設定」を選ぶ



有効な証明書を選ぶと無効にしたことを、無効な証明書を選ぶと有効にしたことを通知するメッセージが表示され、証明書の有効 / 無効が切り替えられます。

証明書有効 : 「」のアイコンが表示されます。

証明書無効 : 「」のアイコンが表示されます。

おしらせ



「無効」に設定すると、そのSSL証明書を持っているSSL対応のページが表示できなくなります。
ドコモ証明書2は常に「有効」のため、機能メニューの「有効 / 無効設定」は行えません。

証明書センター接続の設定をします

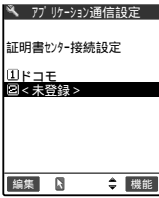
通常は設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時 ドコモ

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先の設定をします。

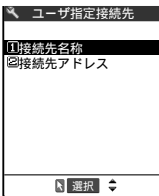
1   「アプリケーション通信設定」▶「証明書センター接続設定」の順に選ぶ

2 <未登録>を反転表示して [編集] を押し、端末暗証番号を入力する



端末暗証番号について P.21

3 「接続先名称」「接続先アドレス」をそれぞれ入力し、 [完了] を押す



接続先名称 : 半角英数で100文字までの接続先名称を入力します。

接続先アドレス : 半角英数で99文字までの接続先アドレスを入力します。

「接続先名称」「接続先アドレス」の両方を入力しないと [完了] は表示されません。

おしらせ

登録した「ユーザ指定接続先」を変更するときは、登録と同じ操作で変更します。
登録した「ユーザ指定接続先」を削除するときは、機能メニューから「削除」を選びます。

